

# 平成 14 年エイズ発生動向年報

(平成 14(2002)年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日)

平成 15 年 4 月 25 日

厚生労働省エイズ動向委員会

## 目次

### 平成 14 年度エイズ発生動向 - 概要 -

#### エイズ発生動向調査の概要

1.エイズ発生動向調査(サーベイランス)報告の流れ-----	1
2.サーベイランスのためのHIV感染症/AIDS診断基準-----	2
3.集計対象と集計方法-----	4
4.集計結果を見る上での注意事項-----	4
5.現行の報告システムの問題点について-----	5

#### 発生動向の分析結果

1.平成 14(2002)年報告例の主な内訳-----	7
2.平成 14(2002)年 12 月 31 日までの累積報告例の内訳-----	8
3.HIV 及び AIDS の動向-----	8
4.都道府県別の報告件数-----	15
5.AIDS 報告における指標疾患の分布-----	16
6.病変死亡の動向-----	16
7.報告年と診断年の比較-----	16

図 1 2002 年に報告された HIV 感染者及び AIDS 患者の感染経路別内訳-----	7
図 2 2002 年報告例の国籍・性別内訳-----	7
図 3 2002 年報告例の推定感染地別内訳-----	7
図 4 HIV 感染者及び AIDS 患者の感染経路別構成(2002 年末累積)-----	8
図 5 HIV 感染者及び AIDS 患者の年次推移-----	8
図 6 HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別年次推移-----	9
図 7 HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、感染経路別年次推移-----	9
図 8 HIV 感染者の国籍別、感染地別年次推移-----	10
図 9 HIV 感染者の国籍別、性別、感染経路別年次推移-----	11
図 10 日本国籍 HIV 感染者の感染経路別、年齢別年次推移-----	12
図 11 HIV 感染者の感染経路別、国籍別、性別の報告地の分布(累積)-----	13
図 12 AIDS 患者の国籍別、性別、感染経路別年次推移-----	14
図 13 日本国籍 AIDS 患者の感染経路別、年齢別年次推移-----	14
図 14 AIDS 患者の感染経路別、国籍別、性別の報告地の分布(累積)-----	15
図 15 HIV 感染者及び AIDS 患者報告数のブロック別年次推移-----	15

資料

表 1	2000 年、2001 年に報告された HIV 感染者及び AIDS 患者の内訳-----	18
表 2	2001 年末における HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別、感染経路別累積--	19
表 3-1	HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別年次推移-----	20
表 3-2	HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍区分別年次推移-----	20
表 4	HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、感染経路別年次推移-----	21
表 5	HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別、感染経路別年次推移-----	22
表 6-1	HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別年次推移-----	23
表 6-2	HIV 感染者の国籍別、性別、年齢階級別年次推移-----	24
表 6-3	AIDS 患者の国籍別、性別、年齢階級別年次推移-----	25
表 7	HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別、感染地別年次推移-----	26
表 8	HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別、報告地別年次推移-----	27
表 9-1	異性間性的接触で感染した日本国籍男性 HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移-----	28
表 9-2	同性間性的接触で感染した日本国籍男性 HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移-----	29
表 9-3	異性間性的接触で感染した日本国籍女性 HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移-----	30
表 9-4	異性間性的接触で感染した外国国籍男性 HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移-----	31
表 9-5	同性間性的接触で感染した外国国籍男性 HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移-----	32
表 9-6	異性間性的接触で感染した外国国籍女性 HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移-----	33
表 10-1	HIV 感染者の報告地別年次推移及び人口 10 万対報告数-----	34
表 10-2	日本国籍 HIV 感染者の報告地別年次推移及び人口 10 万対報告数-----	35
表 10-3	外国国籍 HIV 感染者の報告地別年次推移及び人口 10 万対報告数-----	36
表 10-4	AIDS 患者の報告地別年次推移及び人口 10 万対報告数-----	37
表 10-5	日本国籍 AIDS 患者の報告地別年次推移及び人口 10 万対報告数-----	38
表 10-6	外国国籍 AIDS 患者の報告地別年次推移及び人口 10 万対報告数-----	39
表 11	AIDS 報告症例における指標疾患の分布-----	40
表 12-1	病変死亡者の国籍別、性別、感染経路別年次推移----- (平成 11 年 3 月 31 日までの報告分)	41
表 12-2	病変死亡者の国籍別、性別、感染経路別年次推移----- (平成 11 年 4 月 1 日からの任意報告分)	41
表 13	HIV 感染者及び AIDS 患者の報告年・診断年対応表-----	42

(参考)

・保健所等における検査・相談件数-----	43
・献血件数及び HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数-----	45

# 平成 14 年エイズ発生動向 - 概要 -

厚生労働省エイズ動向委員会

エイズ動向委員会は、3ヶ月ごとに委員会を開催し、都道府県等からの報告に基づき患者発生動向を把握し公表している。今般、平成14年1年間の発生動向の概要を取りまとめたので報告する。

## 1. 結果

### (1) HIV 感染者の報告数

平成8年以降増加が続き、本年は日本国籍、外国国籍合わせて614件で前年(621件)とほぼ同数となった(図1)。日本国籍例は521件、外国国籍例は93件であった。日本国籍男性の増加が顕著で、本年の報告数は前年(475件)を超え過去最高の481件となった。日本国籍女性は40件と前年(50件)に比べて少なかったが、年次推移は緩やかな増加傾向にある(図3)。

### (2) AIDS 患者の報告数

本年は日本国籍、外国国籍合わせて308件で、前年(332件)に比べて減少したが(図1)、日本国籍例は252件で、前年(245件)より多い。日本国籍例の男性は232件で、前年(221件)に比べて増加している。(図7)

図1 HIV 感染者および AIDS 患者報告数の年次推移

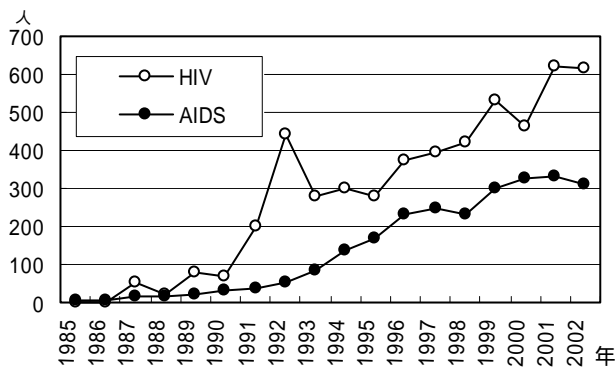


図2 HIV 感染者の感染経路別内訳(本年報告例)

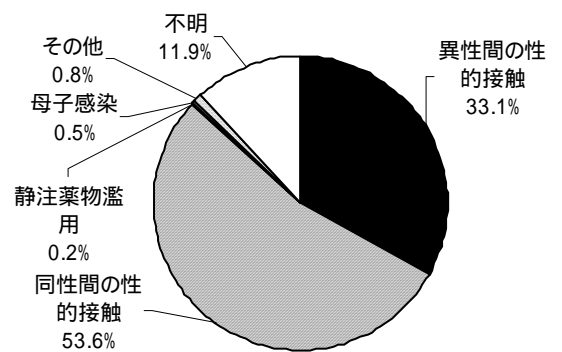


図3 HIV 感染者報告数の国籍別、性別年次推移

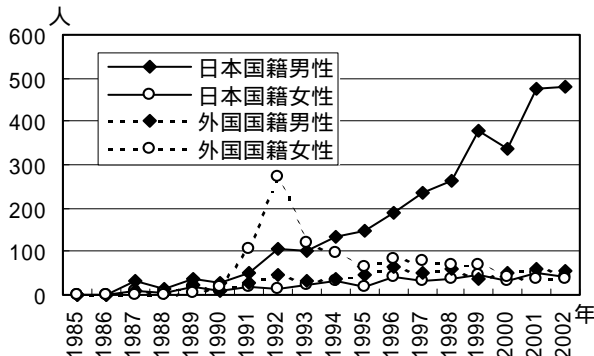
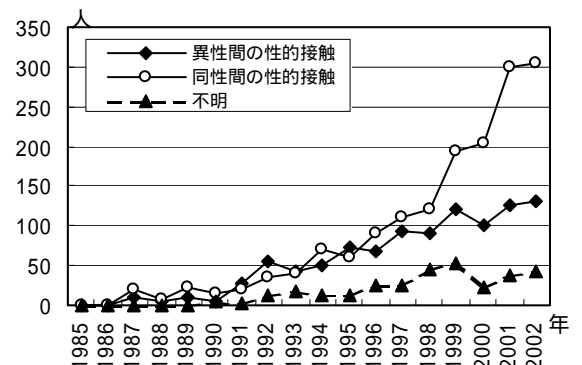


図4 日本国籍男性 HIV 感染者の感染経路別年次推移



### (3) 感染経路

本年の HIV 感染者報告例の感染経路は、同性間の性的接触が 329 件 (53.6%)、異性間の性的接触が 203 件 (33.1%) で、性的接触によるものが合わせて 532 件 (86.7%) を占めた (図 2)。

日本国籍例では、男性同性間の性的接触が 305 件と前年 (300 件) に比べて増加し、過去最高の報告数であった (図 4)。また、男性異性間の性的接触も 130 件と前年 (126 件) に比べて増加し、過去最高の報告数であった。日本国籍女性の異性間性的接触による HIV 感染者は 30 件であり、年次によって増減はあるものの増加傾向にある (図 5)。

本年の AIDS 患者報告例の感染経路は、異性間の性的接触による感染は 133 件 (43.2%)、同性間の性的接触による感染は 84 件 (27.3%) で、性的接触による感染が 70.5% を占めた。

日本国籍例の男性 232 件の内、異性間の性的接触は 97 件、同性間の性的接触は 81 件であった。

また、1985 年以降の累積報告数で日本国籍の異性間の性的接触による HIV 感染者の性比を年齢階級別にみると、全体に占める割合は少ないものの 15-19 歳層は女性が 68.8%、20-24 歳層は女性 57.0% を占め、男性の占める割合の高い他の年齢層とは異なる (図 6)。

なお、静脈注射薬物濫用や母子感染によるものは HIV、AIDS とともにいずれも 1% 以下にとどまっている (図 2、8)。

図 5 日本国籍女性 HIV 感染者の感染経路別年次推移

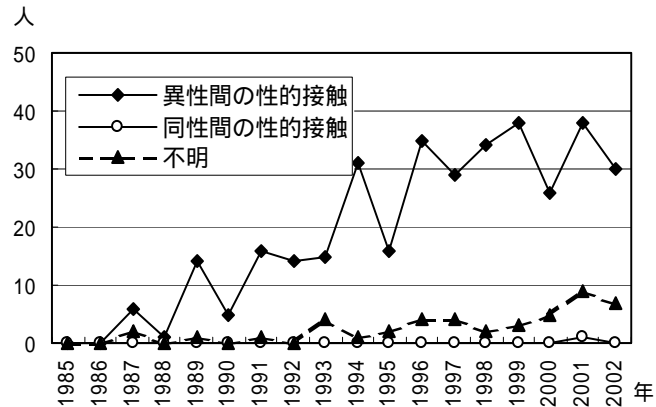


図 6 日本国籍異性間 HIV 感染者の年齢別、性別内訳 (累計)

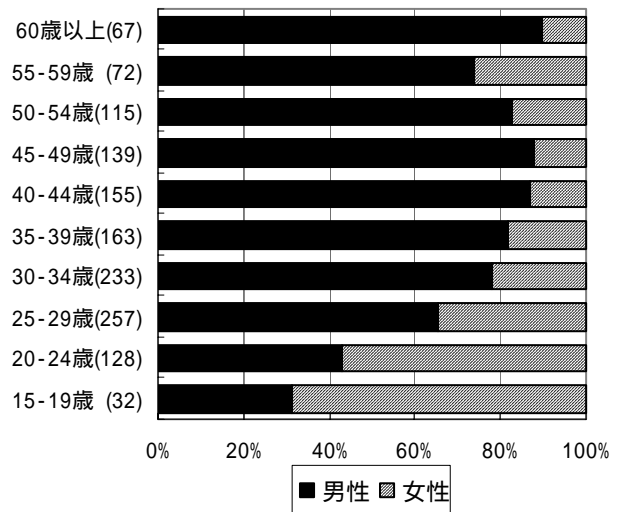


図 7 AIDS 患者報告数の国籍、性別年次推移

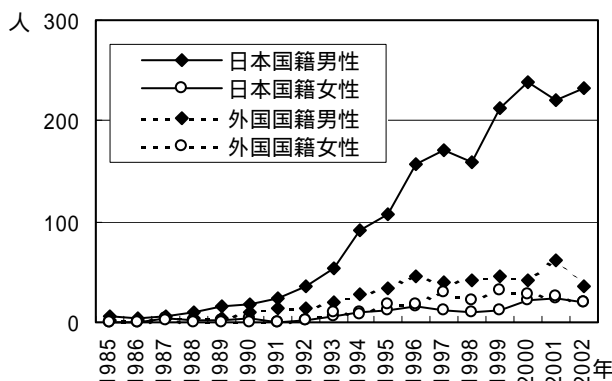
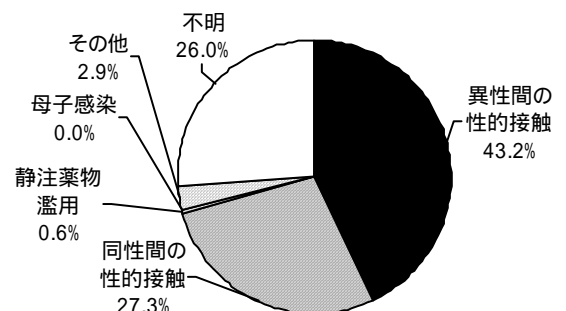


図 8 AIDS 患者の感染経路別内訳 (本年報告例)





## エイズ発生動向調査の概要

### 1. エイズ発生動向調査(サーベイランス)報告の流れ

エイズ発生動向調査(サーベイランス)は、昭和 59(1984)年から開始され、平成元(1989)年からは「後天性免疫不全症候群の予防に関する法律」(エイズ予防法)に基づいて平成 11(1999)年3月31日まで実施されてきた。平成 11(1999)年4月1日からは「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律(平成 10 年法律第 114 号)」(感染症法)の施行に伴いエイズ予防法は伝染病予防法、性病予防法とともに統合廃止され、後天性免疫不全症候群は感染症法の第四類感染症として位置づけられた。その結果、エイズ発生動向調査は感染症法に基づく感染症発生動向調査の一部として整備され現在に至っている。本調査における HIV 感染者とは感染症法の規定に基づく後天性免疫不全症候群発生届により無症候性キャリアあるいはその他として報告されたものである。また、AIDS 患者とは初回報告時に AIDS と診断されたものであり、既に HIV 感染者として報告されている症例が AIDS を発症する等病状に変化を生じた場合は法定報告から除かれている。

#### 1) エイズ予防法に基づく報告の流れ

エイズ予防法に基づく報告の流れは、HIV 感染者あるいは AIDS 患者を診断した医師が感染者・患者の居住する都道府県知事に「エイズ病原体感染者報告票」(以下、初回報告票と呼ぶ)を7日以内に提出し、その報告票が都道府県・政令市から当時の厚生省保健医療局エイズ疾病対策課に集められた。初回報告票の内容は、性、国籍、年齢、HIV 感染者・AIDS 患者の別、感染者と診断した年月日、感染者と診断した方法、AIDS と診断した場合は診断年月日および特徴的症状、感染したと推定される原因および地域(日本国内・海外)、居住地(都道府県・政令市)、医療機関名と住所、診断医師名、報告年月日である。

また、厚生省保健医療局疾病対策課結核・感染症対策室長通知(平成7年4月1日)により、初回報告票がすでに提出された HIV 感染者あるいは AIDS 患者に病状の変化(HIV 感染者が AIDS 発病または死亡、AIDS 患者が死亡)があった場合、「エイズ病原体感染者報告票(病状に変化を生じた事項に関する報告)」(以下、病変報告票と呼ぶ)が同様の流れで集められた。病変報告票の内容は、病状の変化の状況(HIV 無症候性キャリア等 エイズ、生存 死亡の別)とその年月日、前回報告時の臨床診断、感染者と診断した年月日、性、年齢、国籍、居住地(都道府県・政令市)、医療機関名と住所、診断医師名、報告年月日である。

なお、いずれの報告票でも、氏名、生年月日などの個人を特定できる情報は含まれていない。また、いずれの報告票もエイズ動向委員会による審査を通して確定されてきたが、凝固因子製剤による感染はこの報告の対象外としてきた。

#### 2) 感染症法に基づく報告の流れ

感染症法に基づく報告において生じた主な変更点は以下のとおりである。

HIV 感染者あるいは AIDS 患者を診断した医師は「後天性免疫不全症候群発生届(HIV 感染症を含む)」(以下、「初回報告票」という)を7日以内に最寄りの保健所長に提出する。

保健所はオンラインを通して、都道府県等(都道府県、保健所を設置する市および特別区)および中央感染症情報センター(国立感染症研究所感染症情報センター内)に報告する。

報告内容は、性、年齢、HIV 感染者・AIDS 患者の別、診断方法、診断時の症状、発病年月日、初診年月日、診断年月日、感染したと推定される年月日、死亡年月日(死亡を検索した場合)、AIDS 診断指標疾患、最近数年間の主な居住地(日本国内・海外)、推定感染地域(日本国内・海

外)、国籍、感染経路である。

感染症法では、医師が診断したにもかかわらず届け出をしなかった場合に対して罰則規定(罰金 30 万円以下)が設けられている。

法に基づく報告は初回報告のみであるが、厚生省保健医療局エイズ疾病対策課長通知(平成 11 年 3 月 19 日)による、「エイズ病原体感染者報告票(症状に変化を生じた事項に関する報告)」(以下、病原報告票という)は、医師が任意に保健所に報告し、都道府県等にてとりまとめられ厚生労働省健康医療局エイズ疾病対策課に集められる。報告内容は、病状の変化、前回報告時の臨床診断、国籍、性、年齢、感染者と診断した年月日、報告年月日などである。

報告は診断した医師が最寄りの保健所に報告する。そのため、必ずしも感染者・患者の居住地の保健所からの報告とは言えないことに留意する必要がある。

## 2. サーベイランスのための HIV 感染症 / AIDS 診断基準

(厚生労働省エイズ動向委員会(旧厚生省エイズ動向委員会)1999)

わが国のエイズ動向委員会においては、下記の基準によって HIV 感染症 / AIDS と診断され、報告された結果に基づき分析を行うこととする。この診断基準は、サーベイランスのための基準であり、治療の開始等の指標となるものではない。近年の治療の進歩により、一度指標疾患(Indicator Diseases)が認められた後、治療によって軽快する場合もあるが、発生動向調査上は、報告し直す必要はない。しかしながら、病状に変化が生じた場合(無症候性キャリア AIDS、AIDS 死亡等)には、必ず届け出ることが、サーベイランス上重要である。

なお、報告票上の記載は、

- 1)無症候性キャリアとは、Iの基準を満たし、症状のないもの
- 2)AIDS とは、 の基準を満たすもの
- 3)その他とは、 の基準を満たすが、 の基準を満たさない何らかの症状があるものを指すことになる。

### . HIV 感染症の診断

1. HIV の抗体スクリーニング検査法(酵素抗体法(ELISA)、粒子凝集法(PA)、免疫クロマトグラフィー法(IC)等)の結果が陽性であって、以下のいずれかが陽性的の場合に HIV 感染症と診断する。

- 1)抗体確認検査(Western Blot 法、蛍光抗体法(IFA)等)
- 2)HIV 抗原検査、ウイルス分離及び核酸診断法(PCR 等)等の病原体に関する検査(以下、「HIV 病原検査」という。)

2. ただし、周産期に母親が HIV に感染していたと考えられる生後 18 か月未満の児の場合は少なくとも HIV の抗体スクリーニング法が陽性であり、以下のいずれかを満たす場合に HIV 感染症と診断する。

- 1)HIV 病原検査が陽性
- 2)血清免疫グロブリンの高値に加え、リンパ球数の減少、CD4 陽性 T リンパ球数の減少、CD4 陽性 T リンパ球数 / CD8 陽性 T リンパ球数比の減少という免疫学的検査所見のいずれかを有する。

### . AIDS の診断

の基準を満たし、 の指標疾患(Indicator Diseases)の1つ以上が明らかに認められる場合に



AIDS と診断する。

・指標疾患 (Indicator Diseases)

A. 真菌症

1. カンジダ症 (食道、気管、気管支、肺)

2. クリプトコッカス症 (肺以外)

3. コクシジオイデス症

全身に播種したもの、肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの

4. ヒストプラズマ症

全身に播種したもの、肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの

5. カリニ肺炎 (注) 原虫という説もある

B. 原虫症

6. トキソプラズマ脳症 (生後1か月以後)

7. クリプトスポリジウム症 (1か月以上続く下痢を伴ったもの)

8. イソスポラ症 (1か月以上続く下痢を伴ったもの)

C. 細菌感染症

9. 化膿性細菌感染症 (13歳未満で、ヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により以下のいずれかが2年以内に、二つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの)

敗血症、肺炎、髄膜炎、骨関節炎、中耳・皮膚粘膜以外の部位や深在臓器の膿瘍

10. サルモネラ菌血症 (再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)

11. 活動性結核 (肺結核または肺外結核)

12. 非定型抗酸菌症

全身に播種したもの、肺、皮膚、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの

D. ウイルス感染症

13. サイトメガロウイルス感染症 (生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外)

14. 単純ヘルペスウイルス感染症

1か月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を呈するもの、生後1か月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの

15. 進行性多巣性白質脳症

E. 腫瘍

16. カボジ肉腫

17. 原発性脳リンパ腫

18. 非ホジキンリンパ腫

LSG分類により 大細胞型、免疫芽球型、Burkitt型

19. 浸潤性子宮頸癌

F. その他

20. 反復性肺炎

21. リンパ性間質性肺炎 / 肺リンパ過形成: LIP / PLH complex (13歳未満)

22. HIV 脳症 (痴呆又は亜急性脳炎)

23. HIV 消耗性症候群 (全身衰弱又はスリム病)

: C 11 の活動性結核のうち肺結核、及び E 19 の浸潤性子宮頸癌については、HIV による免

疫不全を示唆する症状または所見が見られる場合に限る。

### 3. 集計対象と集計方法

エイズ予防法に基づいて平成 11(1999)年 3 月 31 日までにエイズ動向委員会によって確定された HIV 感染者、AIDS 患者、および感染症法に基づいて平成 11(1999)年 4 月 1 日から平成 14(2002)年 12 月 31 日までに報告された HIV 感染者、AIDS 患者を集計対象とした。エイズ予防法に基づく報告例に関しては、HIV 感染者に関する情報は初回報告票から、AIDS 患者と病変報告による死亡者(以下、病変死亡者)に関する情報は初回報告票と病変報告票から得たが、平成 11(1999)年 4 月 1 日以降については病変報告による AIDS 患者は集計に含まれていない。これは現在の病変報告票に感染経路、感染地等の情報が含まれておらず、新規報告の AIDS 患者と同様の詳細な集計分析が出来ないためである。なお、前述の通り、この集計には、凝固因子製剤による感染例は含まれていない。無症候性キャリア、あるいはその他として報告があったものを HIV 感染者とし、AIDS として報告があったものを AIDS 患者として集計した。

HIV 感染者、AIDS 患者を、日本国籍と外国国籍ごとに、年次、感染経路、性、年齢、感染地、報告地の別およびそれらの組み合わせの別に集計した。また、AIDS 患者については指標疾患の分布を集計した。年次は診断時点、報告時点ではなく、エイズ動向委員会での確定時点としたが、詳細は項目 4 に記す。感染経路は異性間の性的接触、同性間の性的接触、静注薬物濫用、母子感染、その他、不明の 6 区分とした。同性間の性的接触には両性間の性的接触を含めた。その他の感染経路には輸血などに伴う感染や可能性のある感染経路が複数ある症例(同性間の性的接触と静注薬物濫用のいずれかなど)を含めた。国籍は日本・外国の別と世界地域区分(UNAIDS; Report on the global HIV/AIDS epidemic-JUNE 1998 の分類に準拠)を用いた。

### 4. 集計結果を見る上での注意事項

#### 1) 報告漏れと重複について

HIV 感染者の多くは、感染後のかなり長い期間、特定の症状がなく、検査を受けてはじめて感染が判明する。診断された HIV 感染者の報告漏れは比較的少ないと思われるが、検査を受けていない HIV 感染者がいるために、国内に存在するすべての HIV 感染者の中で報告されている者の割合は必ずしも高くはないと考えられる。一方、AIDS 患者は特定の症状を有することが多く、医療機関を受診する。診断された AIDS 患者の医療機関からの報告率がきわめて高いことを考慮すると、AIDS 患者の中で報告されている者の割合はかなり高いと考えられる。

エイズ発生動向調査では、同一人について複数の初回報告票あるいは病変報告票を提出しないこととしているが、報告票には個人を特定できる情報が含まれていないために、報告に若干の重複がある可能性を否定できない。

また、平成 11(1999)年 3 月 31 日までの AIDS 患者は、初回報告票の AIDS に病変報告票の AIDS を加えて集計している。

#### 2) 報告の遅れについて

エイズ予防法に基づく報告分の集計では、年次は診断時点ではなくエイズ動向委員会の確定時点としてきた。多くの症例で報告は診断後速やかに行われ、直ちにエイズ動向委員会が審査・確定してきた。ただ、様々な事情から報告が遅れる症例もあった。平成 2(1990)年～平成 11(1999)年にエイズ動向委員会により確定された HIV 感染者の中で、確定されたのが診断の翌年であった症例は 3.2%、2 年以上遅れた症例は 0.2%であった。同様に、平成 2(1990)年～平成 11(1999)年に確定された AIDS

患者では、確定されたのが診断の翌年であった症例は 4.8%、2 年以上遅れた症例は 1.9%であった(表 13)。

### 3) 本集計データの確定日について

感染症法に基づく報告分については、当該年の 1 月 1 日から 12 月 31 日までの報告とした。なお、保健所からのオンラインによる報告に、その後追加・削除・修正される場合もあり、報告数は集計データを取り出す時期に左右される可能性がある。本集計は、平成 15(2003)年 2 月 27 日に集計データを確定したものである。このため、エイズ動向委員会が先に公表した平成 14(2002)年エイズ発生報告数(平成 14 年 12 月 29 日現在)速報値とは若干異なっている。

### 4) 病変報告について

エイズ予防法下での初回報告票と病変報告票は感染症法後にも継続されることとなった。しかし前述したように、新法下では初回報告票と病変報告票の照らし合わせ(リンケージ)がなされないために病変報告例の感染経路等の情報を得ることができない。このため、平成 11 年 4 月 1 日以降の患者・感染者病変報告(無症候性キャリア AIDS 43 件、生存 死亡 151 件)は除外して集計した。

### 5) その他

病変報告票の年齢欄には診断時点あるいは報告時点などについて明示されていないが、確定が診断や報告よりも極端に遅れる症例はきわめて稀であるので、年齢を診断時点あるいは報告時点のいずれのものともみても、全体像を把握する上で大きな問題はない。

エイズ予防法では、患者あるいは感染者の居住地の県知事に報告されることになっていたが、感染症法では、報告した医療機関を管轄する保健所に報告されることとなった。従って、「報告地」の意味が感染症法の前後で異なっている。

本集計では、日本国籍と外国国籍を別にしているが、これは、両者の感染経路の状況や年次推移の傾向などが大きく異なるためである。

## 5. 現行の報告システムの問題点について

エイズ動向調査は、HIV 感染者や AIDS 患者の発生の的確な把握を行うためのシステムであるが、その観点から見て、感染症法施行以降のシステム(以下、新システム)には、エイズ予防法下のシステム(以下、旧システム)と共通した、あるいは新たに見られる問題点がある。エイズ動向調査による実態把握をより正確なものとするためには、今後のシステム改訂の際に考慮する必要がある。

### (1) 重複報告の問題

新システムの報告票は、旧システムの場合と同様、同一者が異なる医療機関から報告されても、それを原則的に区別することができないため、重複報告が含まれる可能性がある。流行の推移に伴って、今後重複報告の割合がどのように変動するかは予測し得ないため、今後の実態把握における不確定要因となり得る。また、HIV 感染者、AIDS 患者に見られる高率の感染経路不明例は、両システムに共通する問題点であり、感染経路の正確な把握を妨げるため、流行状況の的確な把握に支障をきたす可能性もある。

### (2) 病変報告の問題

第一に、病変報告票には、感染経路、感染場所等や、初回報告に関する項目が含まれていないため、病変報告による AIDS 患者(以下、病変 AIDS)を、感染経路、感染場所等によって分類することができない。このため、病変 AIDS は、たとえ捕捉されても、感染経路や感染場所等が不明な例として扱われることとなる。

第二に、病変報告票は、初回報告を行った後に、その臨床経過に応じて、改めて報告するものであるという性格上、報告漏れの危険を伴うが、病変 AIDS や死亡数の動向は、最近の治療の進歩を反映し得るものであるため、病変報告票による報告件数が低下すればエイズ動向調査から患者発生の動向に関する情報の一部が脱落する恐れがある。

第三に、病変 AIDS は、AIDS 患者の中で、以前 HIV 感染者として捕捉されていた者であり、病変 AIDS 数が正確に把握できれば、病変 AIDS 以外の AIDS 数との対比によって、全 HIV 感染者数（注：潜在感染者を含む）の推計が可能となるため、推計および将来予測上のもっとも基本的な情報として利用されてきた。従って、病変 AIDS 数の捕捉が低下したり、感染経路別の分類が不可能であると、全 HIV 感染者数の推計や予測の支障となる。

### (3) 今後検討を要する問題

人権への配慮等、感染症法の趣旨を尊重しつつ、エイズ動向調査をさらに充実させるためには、以下の点を検討する必要があると考えられる。

報告の意義とシステムに関する医師への普及啓発：報告の源は医師であるため、正確な情報記載の意義や病変報告の意義を医師に徹底し、記載漏れや報告漏れの防止を図る必要がある。

保健所の役割強化：新システム下では、保健所を経由して情報収集が行われる。従って、報告を受けた保健所が、記載漏れをチェックするとともに、報告医師に対して病変報告の存在等についての周知を行うようにすれば、動向調査の質の向上を図ることができる。

個人を同定し得ない照合情報の導入：重複報告の問題を解決するために、生年月日、あるいは欧米諸国で実施されているような個人の特定につながらないコードを報告項目に導入すれば、報告間の照らし合わせが可能となり、また、病変 AIDS から再び有用な情報が得られることとなる。

外国人患者、感染者のために通訳サービスの導入・普及：患者、感染者が外国人の場合、意思疎通が困難なために不明となる場合がある。外国人報告例で特に不明が多いのは、これが原因であると考えられる。通訳サービスが普及すれば、医療の向上に資するのみならず、動向調査の質の向上に資するところも大きい。

その他：居住地情報を得るために、初回報告票に都道府県等の居住地の項目を追加する必要がある。病変報告票と初回報告票との照らし合わせを可能とするために、オンラインファイルに、報告医師名や医療機関名の追加、あるいは、病変報告票に初回報告票と同等の情報の追加等について早急に検討しなければならない。

## 発生動向の分析結果

### 1. 平成 14(2002)年報告例の主な内訳

本年は、HIV 感染者(以下 HIV と省略)614 件、AIDS 患者(以下 AIDS と省略)308 件が報告された。**感染経路別**では、性的接触による感染が HIV で 532 件(86.7%)、AIDS で 217 件(70.5%)と多数を占め(図 1)、**国籍・性別**では、日本国籍男性が HIV 481 件(78.3%)、AIDS 232 件(75.3%)と多数を占めた(図 2)。また、**感染地別**では、国内感染が HIV で 474 件(77.2%)、AIDS で 186 件(60.4%)と大半を占め(図 3)、**報告地別**では、東京都とその他の関東甲信越ブロックからの報告が HIV 395 件(64.3%)、AIDS 217 件(70.5%)と大半を占め、近畿ブロックが HIV 96 件(15.6%)、AIDS 38 件(12.3%)とそれに次いだ(表 1)。

HIV の年間報告件数は前年に比べて 7 件減少(日本国籍 4 件、外国国籍 3 件)したが、**感染経路別**では同性間の性的接触、**性別**では男性、**感染地別**では海外感染、**報告地別**では、東京都、北陸、近畿、九州ブロックで増加していた。外国国籍では同性間の性的接触の近畿からの報告が目立った。

AIDS は前年に比べて 24 件減少したが、主に外国国籍例の減少で、日本国籍例では 7 件の増加であった。日本国籍例は、**感染経路別**では同性間の性的接触で減少したがその他の経路は微増であった。また、**性別**では男性、**感染地別**では海外、**報告地別**では東京、関東・甲信越、北陸ブロックで増加していた(以上表 1)。

図 1. 2002 年に報告された HIV 感染者及び AIDS 患者の感染経路別内訳

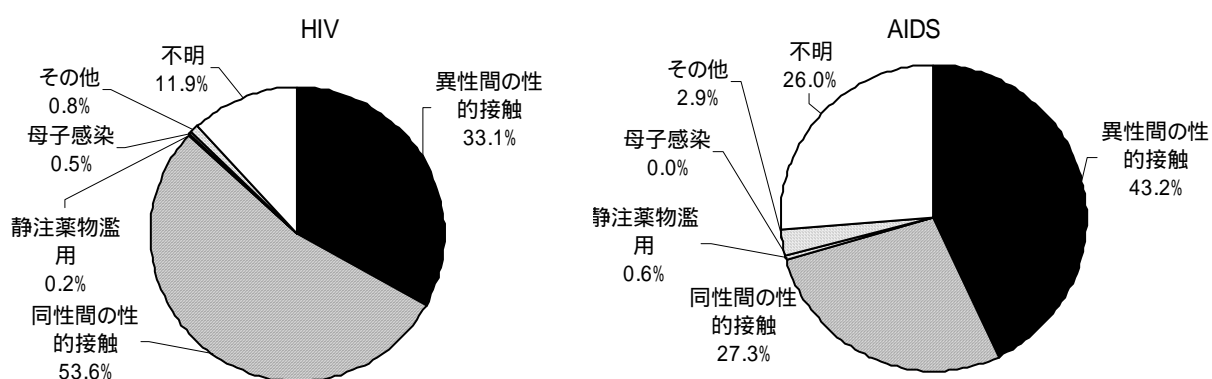


図 2. 2002 年報告例の国籍・性別内訳

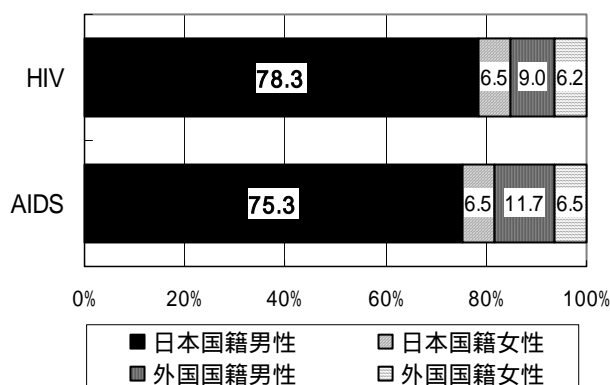
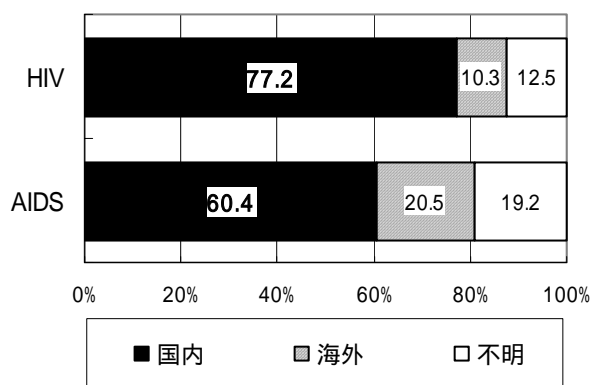


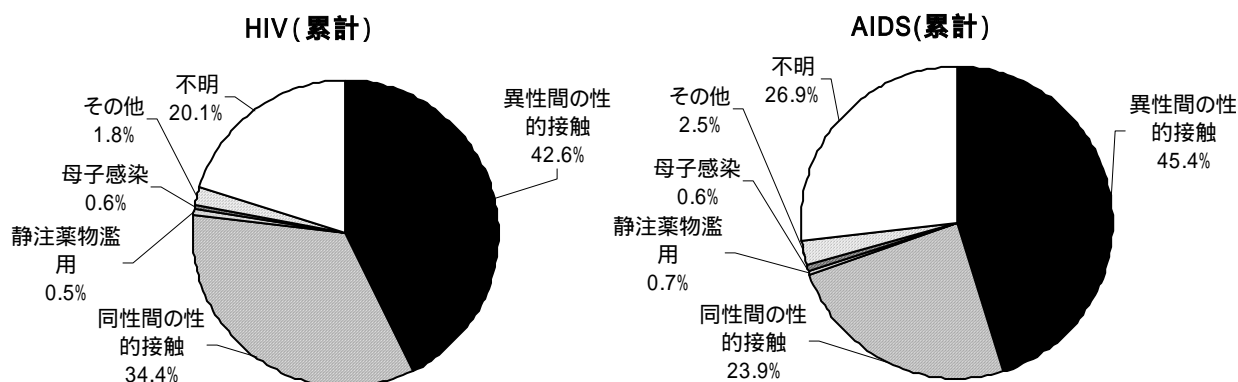
図 3. 2002 年報告例の推定感染地別内訳



## 2.平成 14(2002)年 12 月 31 日までの累積報告例の内訳

凝固因子製剤による感染例を除いた、2002 年 12 月 31 日までの累積報告件数は、HIV 5,140 件、AIDS 2,556 件である。**感染経路別構成**は、HIV では、異性間の性的接触 2,192 件(42.6%)、同性間の性的接触 1,770 件(34.4%)、静注薬物濫用 27 件(0.5%)、母子感染 29 件(0.6%)、その他 91 件(1.8%)、不明 1,031 件(20.1%)であり、AIDS でもほぼ同様であった(以上表 2、図 4)。**国籍・性別構成**は、HIV では日本国籍男性 3,009 件(58.5%)、日本国籍女性 427 件(8.3%)、外国国籍男性 612 件(11.9%)、外国国籍女性 1,012 件(21.2%)であり、AIDS では、それぞれ 1,756 件(68.7%)、150 件(5.9%)、440 件(17.2%)、210 件(8.2%)であった(以上表 2)。

図 4. HIV 感染者及び AIDS 患者の感染経路別構成(2002 年末までの累積)



## 3.HIV 及び AIDS の動向 (凝固因子製剤による感染例を除く)

HIV の年間報告件数は 1992 年を除けば、調査開始時よりほぼ一貫して増加傾向が続き、2001 年には過去最高の報告数となり、本年はそれとほぼ同数の報告となった。(以上表 3-1、図 5)。HIV の増加は、主に日本国籍男性例の増加によるもので、日本国籍女性も緩やかな増加傾向にある。外国国籍例の報告数は女性では漸減傾向にあるが、男性では横這いないしは漸増傾向にある(以上表 3-1、図 6)。

AIDS は前年に比べて外国国籍例で 31 件減少したため年間報告数が 24 件減少したが、日本国籍男性例では 7 件の増加であった。(以上表 3-1、図 6)。

図 5. HIV 感染者及び AIDS 患者の年次推移

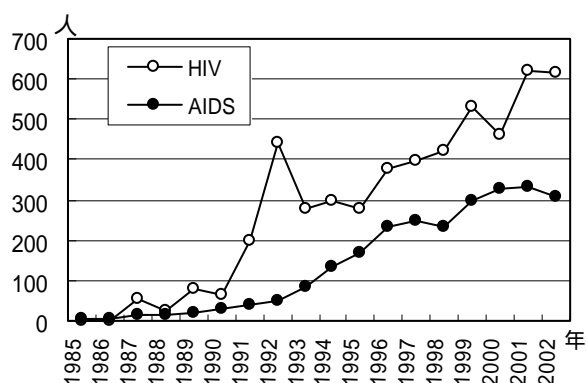
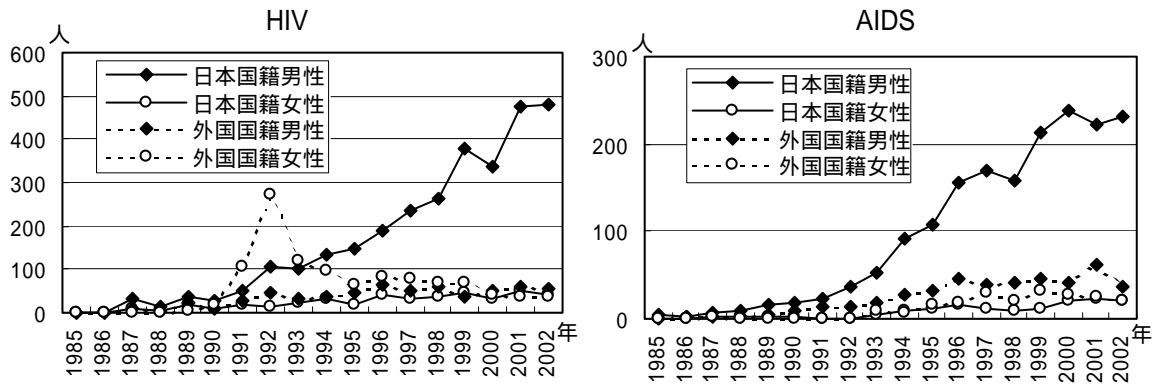


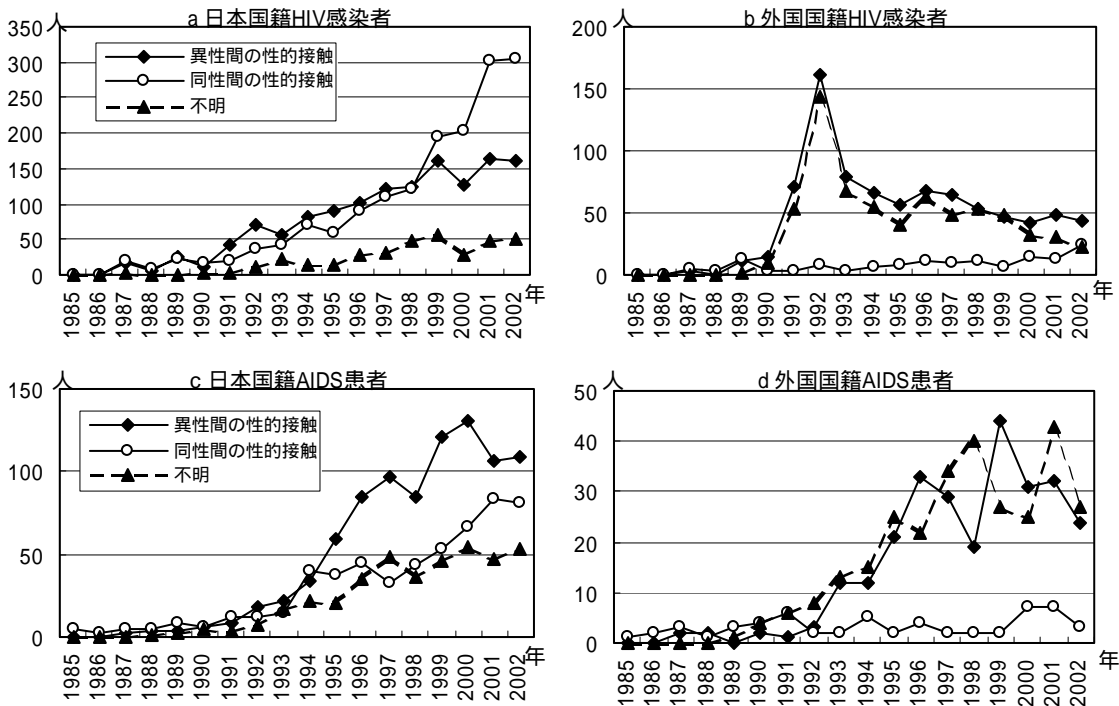
図 6. HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、性別年次推移



報告例の国籍を世界地域区別に分類したところ、HIV、AIDS とともに、日本国籍例以外では、東南アジアがもっとも多く、ラテンアメリカ、サハラ以南アフリカがそれに次ぎ、HIV 報告数は漸減、AIDS では漸増に推移していた。日本国籍以外の報告例は、本年度 HIV 93 件(15.1%)、AIDS 56 件(18.2%)を占めている(以上表3-2)。

感染経路別にみると、日本国籍例の HIV では、異性間および同性間の性的接触と感染経路不明が増加を続けている。外国国籍の HIV では、同性間の性的接触が増加した。AIDS では、日本国籍例は異性間の性的接触による報告が 2001 年に減少し、本年はほぼ横這いであった。同性間の性的接触による報告は 1997 年以降増加を続けているが、本年は横這いであった。外国国籍例では、異性間の性的接触、および感染経路不明による報告が増減を繰り返しながらも徐々に増加傾向にある(以上表4、図7)。

図 7. HIV 感染者及び AIDS 患者の国籍別、感染経路別年次推移



\* 静注射薬物濫用、母子感染、その他は除く

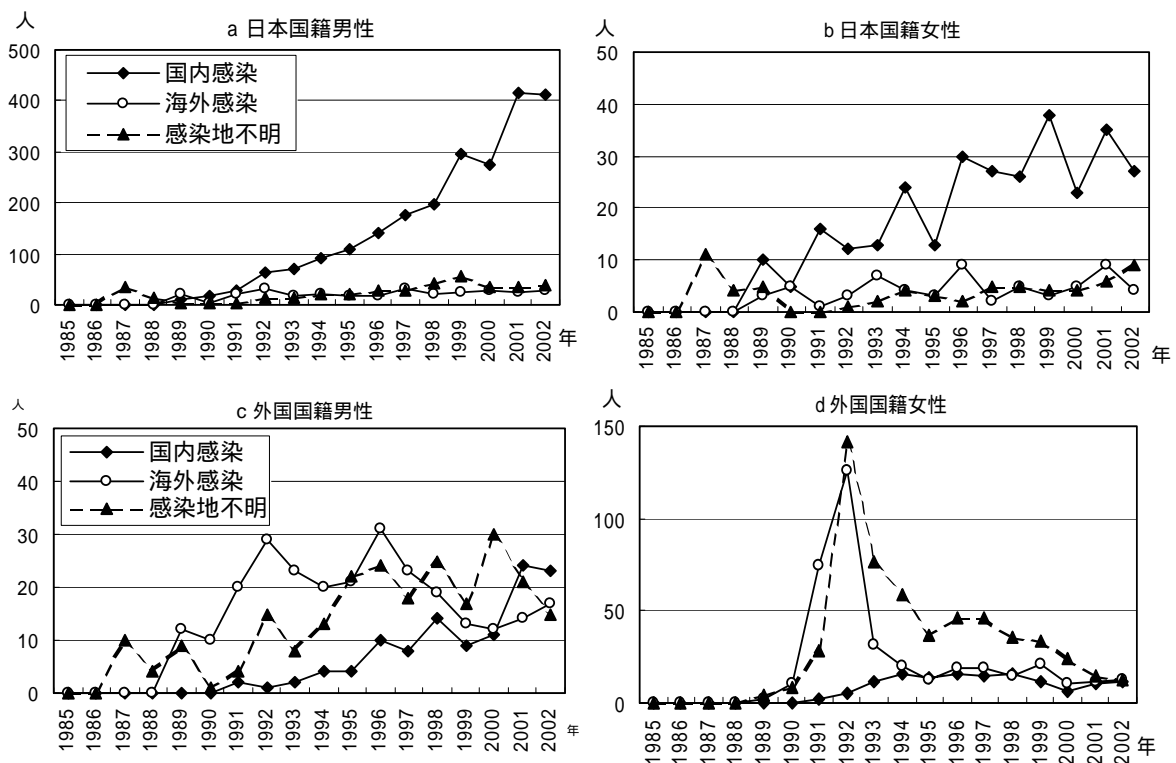
感染経路不明は、HIVでは累積の20.1%を占め、とくに外国国籍例では39.5%と高率であり、本年の外国国籍HIV例でも24.7%を占めていた。一方、AIDSでは、感染経路不明は累積で日本国籍例が20.9%、外国国籍例が44.6%を占め、本年報告の外国国籍例では48.2%とほぼ半数に達している(以上表4)。

**年齢分布**は、HIVでは国籍にかかわらず、男性では25-34歳、女性では20-29歳に報告が多い(以上表6-2)。AIDSでは、日本国籍男性で40-54歳の報告が多いが、他の国籍・性別では25-39歳に多い(以上表6-3)。

また、**感染地別**では、HIVは国内感染が日本国籍男性例で増加傾向にあり、日本国籍女性および外国国籍男性の国内感染が横這いないし漸増傾向にある(以上表7、図8)。AIDSでは、日本国籍男性の国内感染例が増加していたが、この3年間は横這いの推移である。(以上表7)。

**報告地別**では、日本国籍男性のHIVが、東京都16件、北陸1件、近畿2件、九州ブロック4件で前年に比べて増加した。また、東海、近畿ブロックでは外国国籍例の報告増が目立った。AIDSでは、日本国籍男性は東海、中国・四国、九州をのぞくブロックで増加していた。他の区分では横這い、あるいは減少の傾向であった(以上表8)。

図8. HIV感染者の国籍別、性別、感染地別年次推移



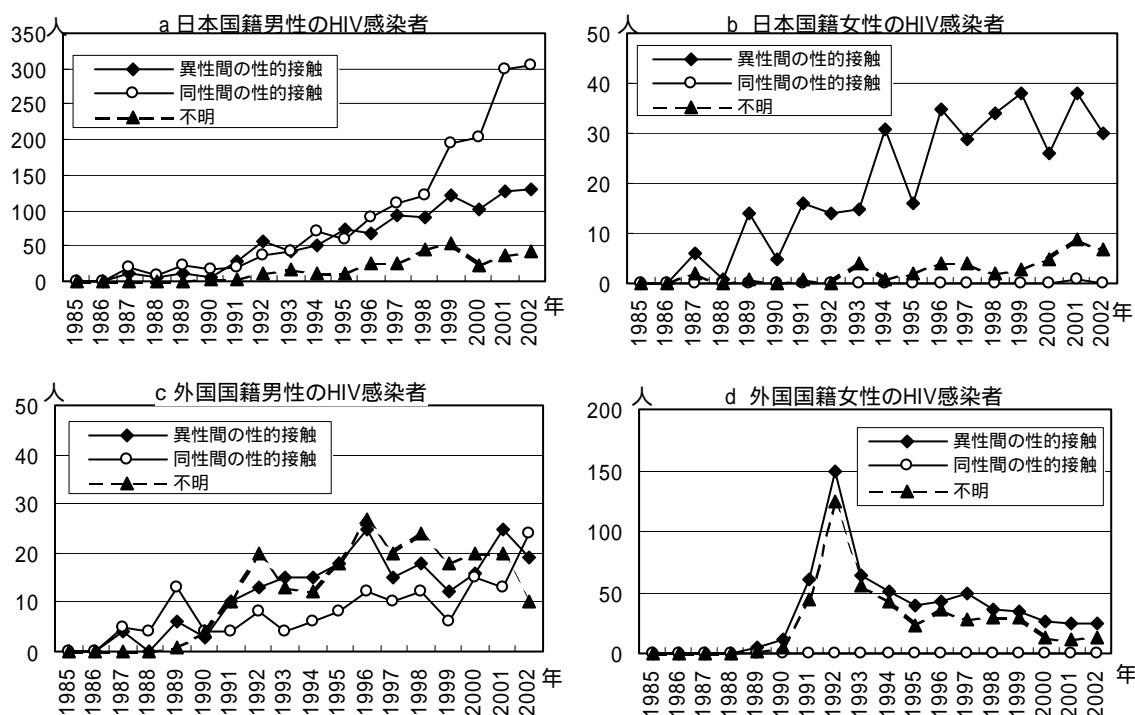


## 1) 国籍・性別の HIV の動向

**日本国籍男性:** 報告累積 (3,009 件)の内、同性間の性的接触が 53.9%、次いで異性間の性的接触が 33.7%で両者が大半(87.6%)を占めている。本年の報告では、同性間および異性間の性的接触、感染経路不明は増加している(以上表 5、図 9)。**異性間の性的接触**は、年齢のピークが累積でみると 30-34 歳であるが、近年 20 歳代で報告増の傾向にある(以上図 10)。推定感染地は国内感染が大半(累積で 67.9%)を占め(以上表 9-1)、近年国内感染例の割合は増加しつつある。報告地別では、関東甲信越ブロック(東京都を除く)が 39.5%、東京都が 33.8%で、年間報告件数は、関東甲信越(東京都を除く)、東海を除く各ブロックで増加傾向にある(以上表 9-1)。

一方、**同性間の性的接触**は 25-29 歳に年齢のピークがあり(以上図 10)、国内感染例の割合が高い(88.7%)。本年報告の同性間性的接触例(305 件)では国内感染例は 286 件(93.8%)を占めていた。報告地は東京都が 56.3%、次いで関東甲信越ブロックが 15.7%、近畿 14.2%ある。東京都からの報告割合が大きく、かつ著しく増加しているが、近畿、東海、九州の地域でも増加の傾向にある(以上表 9-2、図 11)。

図 9. HIV 感染者の国籍別、性別、感染経路別年次推移



\* 静注射薬物濫用、母子感染、その他は除く

**日本国籍女性:** **異性間の性的接触**は、年間報告件数は少ないものの、緩やかに増加しつつある(以上表 5、図 9)。累積でみると、年齢のピークは 25-29 歳であるが、15-19 歳の感染例は 6.3%と日本国籍男性の異性間性的接触(1.0%)に比べて多く、経年的にも同様の傾向である(以上図 10)。また、日本国籍の異性間の性的接触による HIV 感染者の性比を年齢階級別にみると、15-19 歳層、20-24 歳層は女性の報告割合が高く、他の年齢層と異なる(以上図 10d)。

推定感染地は国内感染(75.6%)が中心であり、報告地は、関東甲信越ブロック(東京都を除く)が

39.4%、東京都が28.4%を占め(以上表9-3、図11)、日本国籍男性に比べると、地域的に分散する傾向がある(以上表9-3、図11)。**感染経路不明**は、例年数例にとどまり増加傾向は見られない。なお、同性間性的接触による女性の感染は2000年に1例報告されている(以上表5)。

**外国国籍男性**:近年は異性間の性的接触が同性間の性的接触より多く報告されていたが、本年は逆に同性間の性的接触が多かった(以上表5、図9)。**異性間の性的接触**による感染例は30-34歳が34.6%と多く、推定感染地は海外が55.1%であるが、国内感染も22.1%存在する。報告地は、関東甲信越ブロック(東京都を除く)と東京都がほぼ同数で、累積では合わせて74.8%を占める(以上表9-4、図11)。**同性間の性的接触**は、年齢のピークが異性間に比べて25-29歳とやや若く、また、これまで海外感染が中心であったが、国内感染が36.5%を占め、国内感染例が微増傾向にある。報告地は累積の67.6%が東京都に集中しており、本年も同様である(以上表9-5、図11)。**感染経路不明**は、数、年次推移ともにほぼ異性間の性的接触に類似している(以上表5)。

**外国国籍女性**:**異性間の性的接触**が、1992年に大きなピークを示した後減少し、1995年以降横這いとなり、漸減傾向にある(以上表5、図9)。年齢のピークは、20-24歳と若く、感染地は海外感染と不明が多いが、国内感染も19.4%存在する。報告地は、関東甲信越ブロック(東京都を除く)が累積の65.6%、東京都が21.1%を占める(以上表9-6、図11)。**感染経路不明**は、数、年次推移ともにほぼ異性間の性的接触に近い(以上表5)。

図10. 日本国籍 HIV 感染者の感染経路別、年齢別年次推移

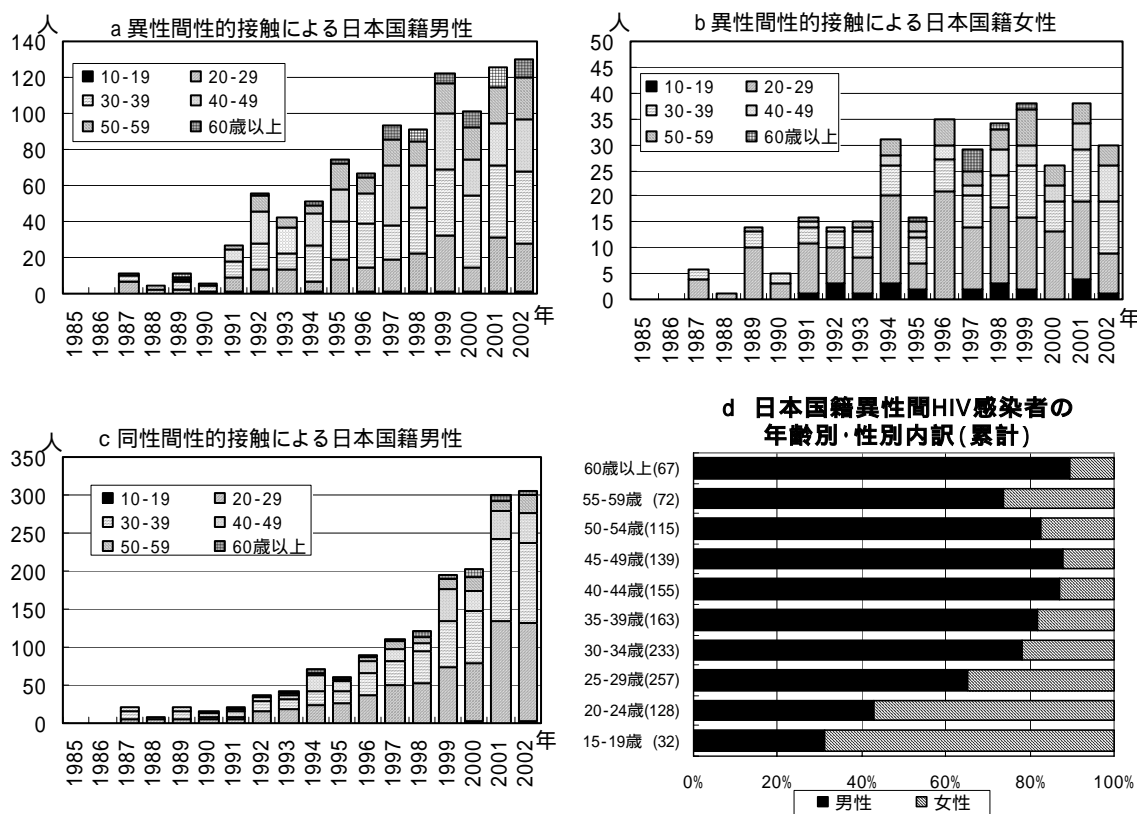
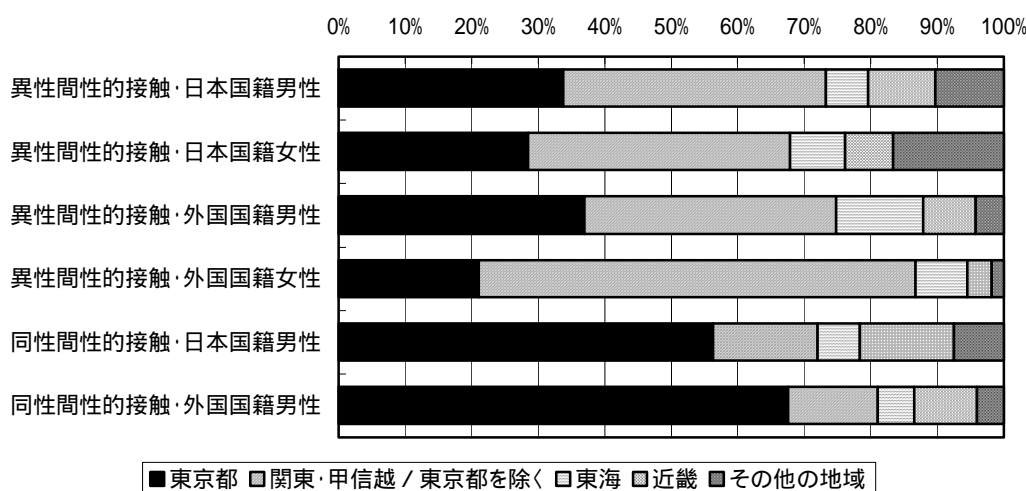


図 11. HIV 感染者の感染経路別、国籍別、性別の報告地の分布(累積)



## 2) 国籍・性別の AIDS の動向

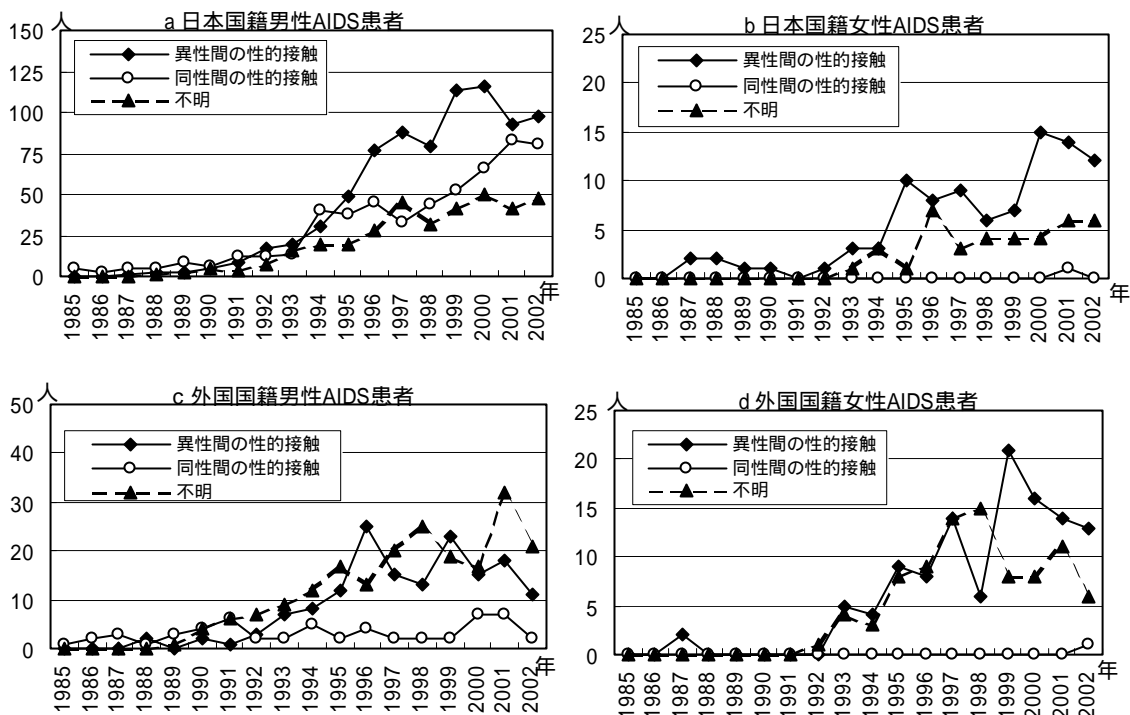
**日本国籍男性:** サーベイランス開始から増加が続いた AIDS の報告は、1998 年に初めて減少に転じてからは、増減を繰り返しつつ増加の傾向にある。本年は前年比 11 件の増加となった。なお、増減を繰り返しているのは異性間性的接触と感染経路不明による報告である(以上表 5、図 12a)。**異性間の性的接触**は日本国籍男性 AIDS 累積(1,756 件)のうち 799 件(45.5%)を占め最も多い。年齢は累積では 45-49 歳がピークであり、経年的には 40 歳代、50 歳代が多い(以上表 9-1、図 13)。推定感染地は、1994 年までは海外感染が主であったが、1995 年以降は国内感染が主となった。累積では、国内感染は 61.5%を占める。報告地は、累積で関東甲信越ブロック(東京都を除く)が 48.7%、東京都が 25.5%を占め、本年も同様であった(以上表 9-1、図 14)。**同性間の性的接触**では、年齢は 30-34 歳がピークで異性間に比べて若く、経年的にみても同様の傾向である(以上表 9-2、図 13)。推定感染地は、国内が中心(80.8%)でその傾向は 1991 年以降一貫している。報告地は東京都が中心で累積の 51.2%、関東甲信越ブロック(東京都を除く)が 24.4%、近畿が 12.1%を占める(以上表 9-2、図 14)。**感染経路不明**が 20.4%存在する(以上表 5)。

**日本国籍女性:** **異性間の性的接触**は、1995 年以来、年間約 6~15 件の報告である(以上表 5)。年齢は累積では 25-29 歳が多いが、30-44 歳までの年齢層はほぼ同数の報告である。推定感染地は国内感染が主(66.0%)で、報告地は相対的には関東甲信越ブロック(東京都を除く)に多いが、比較的全国に分散している(以上表 9-3、図 14)。**感染経路不明**が 26.0%存在する(以上表 5)。

**外国国籍男性:** 異性間の性的接触及び感染経路不明が、1992 年以来高い割合を占める感染経路である。同性間の性的接触は年間 5 件前後で推移している(以上表 5)。**異性間の性的接触**では、年齢のピークは 30-34 歳(33.5%)、海外感染が主(63.9%)で、東京都、関東甲信越ブロック(東京都を除く)に 72.2%が集中している(以上表 9-4、図 14)。**同性間の性的接触**では、年齢のピークは 30-34 歳(33.3%)、海外感染が主(49.1%)で、東京都に 54.4%が集中している(以上表 9-5、図 14)。**感染経路不明**が 46.1%存在する(以上表 5)。

**外国国籍女性:** 異性間の性的接触と感染経路不明が多く、累積では53.3%、41.4%を占める(以上表5)。異性間の性的接触では年齢のピークは25-29歳(33.0%)、主な感染地は海外(45.5%)、報告地は関東甲信越ブロック(東京都を除く)が中心で62.5%を占める(以上表9-6、図14)。

**図 12. AIDS 患者の国籍別、性別、感染経路別年次推移**



\* 静注射薬物濫用、母子感染、その他は除く

**図 13. 日本国籍 AIDS 患者の感染経路別、年齢別年次推移**

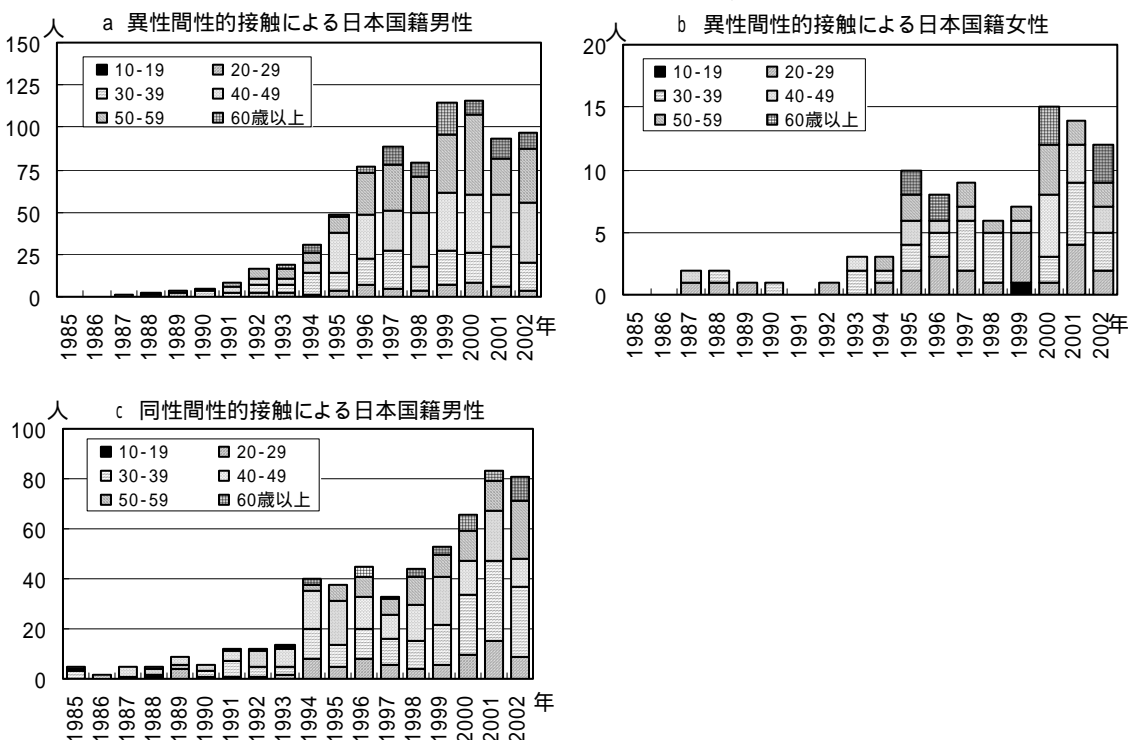
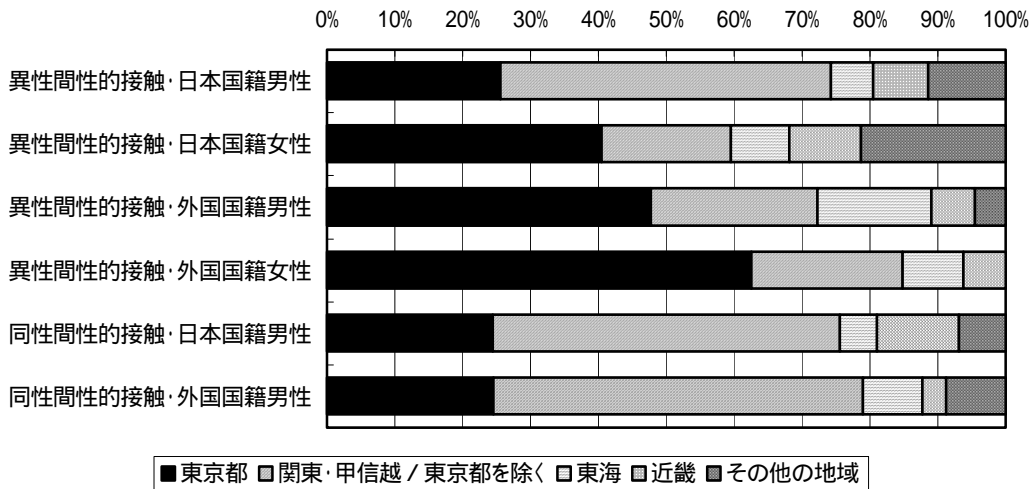


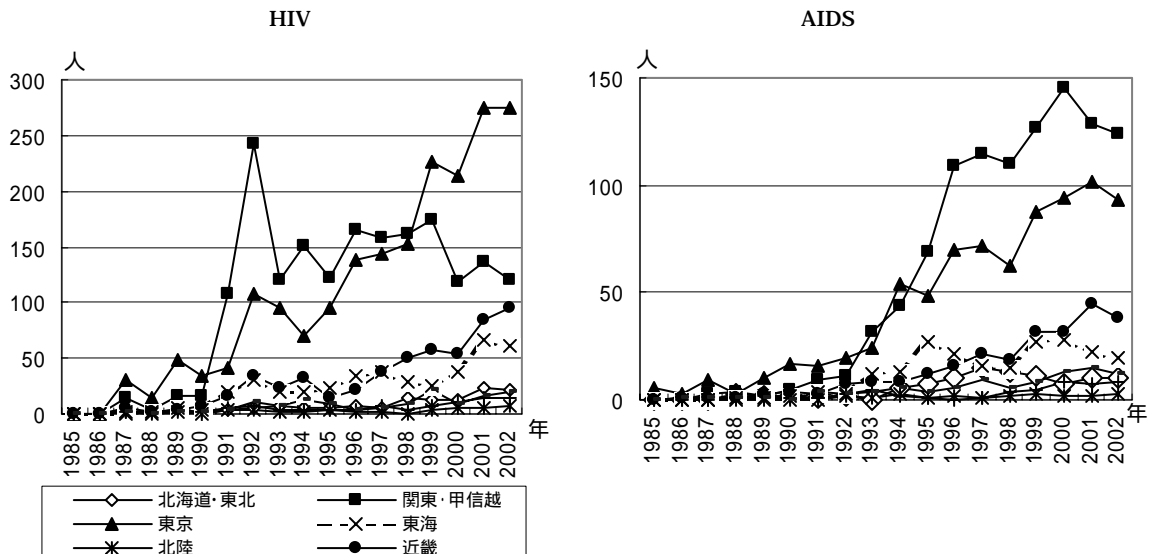
図 14. AIDS 患者の感染経路別、国籍別、性別の報告地の分布 (累積)



#### 4. 都道府県別の報告件数

HIV は、東京、関東・甲信越ブロックからの報告が多く、累積では 73.7%を占める(表 10-1)。経年的には 1992 年以降増加の傾向にあり、2001 年は過去最高の 410 件となった。中でも東京都は 1998 年以降の増加が著しい。また近畿ブロック、東海ブロックでも増加傾向にある。北陸を除く他のブロックも報告数は少ないが、増加の兆しがある。AIDS は、東京都と近畿ブロックで増加していたが、他のブロックではほぼ横這いの状況であった(図 15)。人口 10 万対の累積報告件数は、全国では HIV 4.050(表 10-1)、AIDS 2.014(表 10-4)である。人口 10 万対報告件数の多い都道府県の上位 5 つは、日本国籍例の場合、HIV では、東京都、神奈川県、千葉県、大阪府、茨城県、(表 10-2)、AIDS では、東京都、茨城県、栃木県、千葉県、長野県(表 10-5)で、外国国籍例の場合、HIV では、茨城県、長野県、山梨県、東京都、栃木県(表 10-3)、AIDS では、山梨県、茨城県、長野県、東京都、栃木県である(表 10-6)。

図 15. HIV 感染者及び AIDS 患者報告数のブロック別年次推移



## 5.AIDS 報告における指標疾患の分布

日本国籍と外国国籍の AIDS の累積報告数(1,906 と 650)を分母として、各指標疾患の分布を見ると、分布は両国籍群でほぼ類似しており、ニューモシスチス・カリニ肺炎が 40-46%と最も多く、カンジダ、HIV 消耗性症候群が 12-24%を占める。両群で差が認められるのは、活動性結核(日本国籍例:外国国籍例 = 7.5 %:14.3%)及びクリプトコックス症(同 = 2.7%:6.5%)は外国国籍例で多く、サイトメガロウイルス感染症(同 = 10.7%:4.8%)は日本国籍が多い(以上表 11)。

## 6.病変死亡の動向

エイズ予防法に基づく 1999 年 3 月 31 日までの報告病変死亡例は 596 件である。内訳は、日本国籍男性が 445 件、女性が 40 件、計 485 件、外国国籍男性が 77 件、女性が 34 件、計 111 件である(以上表 12)。また、1999 年 4 月 1 日から 2002 年 12 月 31 日までに厚生労働省に報告された病変死亡例は 151 件で、この内、日本国籍男性が 115 件、女性が 9 件、計 124 件、外国国籍男性が 16 件、女性が 11 件、計 27 件である。2002 年 12 月末までに 747 件の病変死亡の報告が寄せられた。

1999 年 4 月から病変報告は医師の任意によっている。本年の報告は日本国籍男性が 23 件、女性が 0 件、計 23 件、外国国籍男性が 1 件、女性が 1 件、計 25 件である。

## 7.報告年と診断年の比較

日本国籍の HIV 及び外国国籍の HIV と AIDS については、例年 95%以上が診断年と同じ年内に報告されているが、1998 年には診断例のうち HIV の 7.9%が、AIDS の 6.5%が、1999 年に報告されている。これは感染症法の施行に伴う効果と考えられる。日本国籍の AIDS で 95%を下回る年がしばしば見られる(以上表 13)。

# 資 料

表1 2001年、2002年に報告されたHIV感染者及びAIDS患者の内訳

診断区分	項目	区分	日本国籍			外国国籍			合計		
			2001	2002	差	2001	2002	差	2001	2002	差
HIV	合計		525	521	-4	96	93	-3	621	614	-7
	感染経路	異性間の性的接触	164	160	-4	49	43	-6	213	203	-10
		同性間の性的接触*1	301	305	4	13	24	11	314	329	15
		静注薬物濫用	2	1	-1	1	0	-1	3	1	-2
		母子感染	1	1	0	0	2	2	1	3	2
		その他*2	10	4	-6	2	1	-1	12	5	-7
		不明	47	50	3	31	23	-8	78	73	-5
	性	男	475	481	6	59	55	-4	534	536	2
		女	50	40	-10	37	38	1	87	78	-9
	感染地	国内	450	439	-11	34	35	1	484	474	-10
		海外	33	33	0	26	30	4	59	63	4
		不明	42	49	7	36	28	-8	78	77	-1
	報告地 (ブロック)	北海道・東北	22	17	-5	1	4	3	23	21	-2
		関東・甲信越*3	101	87	-14	35	33	-2	136	120	-16
		東京	236	250	14	38	25	-13	274	275	1
		東海	50	47	-3	17	14	-3	67	61	-6
		北陸	5	6	1	0	1	1	5	7	2
		近畿	84	84	0	1	12	11	85	96	11
		中国・四国	12	11	-1	3	3	0	15	14	-1
		九州	15	19	4	1	1	0	16	20	4
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AIDS	合計		245	252	7	87	56	-31	332	308	-24
	感染経路	異性間の性的接触	107	109	2	32	24	-8	139	133	-6
		同性間の性的接触*1	84	81	-3	7	3	-4	91	84	-7
		静注薬物濫用	0	1	1	0	1	1	0	2	2
		母子感染	0	0	0	1	0	-1	1	0	-1
		その他*2	7	8	1	4	1	-3	11	9	-2
		不明	47	53	6	43	27	-16	90	80	-10
	性	男	221	232	11	61	36	-25	282	268	-14
		女	24	20	-4	26	20	-6	50	40	-10
	感染地	国内	185	180	-5	17	6	-11	202	186	-16
		海外	27	40	13	29	23	-6	56	63	7
		不明	33	32	-1	41	27	-14	74	59	-15
	報告地 (ブロック)	北海道・東北	10	10	0	0	0	0	10	10	0
		関東・甲信越*3	87	97	10	42	27	-15	129	124	-5
		東京	77	80	3	25	13	-12	102	93	-9
		東海	16	14	-2	6	6	0	22	20	-2
		北陸	0	2	2	2	1	-1	2	3	1
		近畿	36	35	-1	9	3	-6	45	38	-7
		中国・四国	5	5	0	2	3	1	7	8	1
		九州	14	9	-5	1	3	2	15	12	-3
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 東京都を除く。



表2 2002年末におけるHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別累積

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV	異性間の性的接触	1013	348	1361	214	617	831	1227	965	2192
	同性間の性的接触*1	1621	1	1622	148	0	148	1769	1	1770
	静注薬物濫用	10	0	10	16	1	17	26	1	27
	母子感染	12	7	19	3	7	10	15	14	29
	その他*2	40	26	66	14	11	25	54	37	91
	不明	313	45	358	217	456	673	530	501	1031
	<b>HIV合計</b>	<b>3009</b>	<b>427</b>	<b>3436</b>	<b>612</b>	<b>1092</b>	<b>1704</b>	<b>3621</b>	<b>1519</b>	<b>5140</b>
AIDS	異性間の性的接触	799	94	893	155	112	267	954	206	1160
	同性間の性的接触*1	553	1	554	57	1	58	610	2	612
	静注薬物濫用	5	1	6	11	0	11	16	1	17
	母子感染	8	3	11	1	3	4	9	6	15
	その他*2	32	12	44	13	7	20	45	19	64
	不明	359	39	398	203	87	290	562	126	688
	<b>AIDS合計*3</b>	<b>1756</b>	<b>150</b>	<b>1906</b>	<b>440</b>	<b>210</b>	<b>650</b>	<b>2196</b>	<b>360</b>	<b>2556</b>
<b>凝固因子製剤による感染者*4</b>		<b>1,413</b>	<b>18</b>	<b>1,431</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>1,413</b>	<b>18</b>	<b>1,431</b>

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

\*4 「血液凝固異常症全国調査」による2001年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数  
(生存中のAIDS既発症者数167名及び死亡者数536名を含む)

表3-1 HIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別の年次推移

診断区分	国籍	性別	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%
HIV	日本	男	0	0	34	15	35	27	52	108	102	134	147	189	234	261	379	336	475	481	3009	58.5
		女	0	0	11	4	18	10	17	16	22	32	19	41	34	36	45	32	50	40	427	8.3
		計	0	0	45	19	53	37	69	124	124	166	166	230	268	297	424	368	525	521	3436	66.8
	外国	男	0	0	10	4	21	11	26	45	33	37	47	65	49	58	39	53	59	55	612	11.9
		女	0	0	0	0	6	18	105	273	120	95	64	81	80	67	67	41	37	38	1092	21.2
		計	0	0	10	4	27	29	131	318	153	132	111	146	129	125	106	94	96	93	1704	33.2
合計		0	0	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	5140	100	
AIDS	日本	男	5	3	6	9	15	18	24	36	53	91	108	156	170	158	212	239	221	232	1756	68.7
		女	0	0	3	2	2	3	0	1	5	9	11	15	12	10	12	21	24	20	150	5.9
		計	5	3	9	11	17	21	24	37	58	100	119	171	182	168	224	260	245	252	1906	74.6
	外国	男	1	2	3	3	4	10	14	13	19	28	33	45	39	42	46	41	61	36	440	17.2
		女	0	0	2	0	0	0	0	1	9	8	17	18	29	21	31	28	26	20	210	8.2
		計	1	2	5	3	4	10	14	14	28	36	50	63	68	63	77	69	87	56	650	25.4
合計		6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	2556	100	

表3-2 HIV感染者及びAIDS患者の国籍区分別年次推移

診断区分	国籍区分	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%	
HIV	西ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	1	3	1	4	3	3	2	2	3	1	2	1	26	0.5	
	北アフリカ・中近東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0	
	サハラ以南アフリカ	0	0	0	0	0	1	5	6	4	5	15	20	17	17	10	4	16	16	136	2.6	
	南アジア	0	0	0	0	0	0	2	4	2	3	7	12	3	9	2	5	0	6	55	1.1	
	東南アジア	0	0	0	0	0	4	66	241	123	79	65	72	76	64	56	35	33	18	932	18.1	
	東ヨーロッパ・中央アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.0	
	東アジア・太平洋地域(除く日本)	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	5	3	6	7	5	7	9	13	61	1.2	
	オーストラリア・ニュージーランド	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	5	0.1	
	北アメリカ	0	0	0	0	0	2	6	2	5	2	6	3	0	0	3	2	3	3	34	0.7	
	カリブ海地域	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4	0.1	
	ラテンアメリカ	0	0	0	0	1	0	4	8	9	12	13	25	22	20	15	19	17	11	176	3.4	
	日本	0	0	45	19	53	37	69	124	124	166	166	230	268	297	424	368	525	521	3436	66.8	
	不明	0	0	10	4	26	24	50	47	10	21	1	4	0	4	14	18	17	22	272	5.3	
	合計		0	0	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	5140	100.0
	AIDS	西ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	2	7	0.3
		北アフリカ・中近東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.1
サハラ以南アフリカ		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	9	8	11	9	8	7	4	62	2.4	
南アジア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	3	5	2	23	0.9	
東南アジア		0	0	0	0	0	0	2	2	12	16	27	32	41	33	42	33	34	30	304	11.9	
東ヨーロッパ・中央アジア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	
東アジア・太平洋地域(除く日本)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	4	5	0	8	1	26	1.0	
オーストラリア・ニュージーランド		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
北アメリカ		0	0	0	0	1	3	1	0	5	0	0	2	0	2	0	2	2	1	17	0.7	
カリブ海地域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
ラテンアメリカ		0	0	0	0	0	2	7	16	11	16	15	10	10	10	15	14	14	11	141	5.5	
日本		5	3	9	11	17	21	24	37	58	100	119	171	182	168	224	260	245	252	1906	74.6	
不明		1	2	5	3	4	8	6	2	0	1	1	2	0	0	4	7	16	5	67	2.6	
合計			6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	2556	100.0

表4 HIV感染者及びAIDS患者の国籍別、感染経路別年次推移

診断区分	国籍	感染経路	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%
HIV	日本	異性間の性的接触	0	0	17	6	25	11	43	70	57	82	90	102	122	125	160	127	164	160	1361	39.6
		同性間の性的接触*1	0	0	20	8	22	16	21	36	41	71	60	90	111	122	195	203	301	305	1622	47.2
		静注薬物濫用	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	2	1	0	2	1	10	0.3
		母子感染	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	6	2	0	2	3	1	1	19	0.6
		その他*2	0	0	6	5	5	3	1	5	4	0	0	2	3	1	10	7	10	4	66	1.9
		不明	0	0	2	0	1	4	3	12	22	13	14	29	30	47	56	28	47	50	358	10.4
		合計	0	0	45	19	53	37	69	124	124	166	166	230	268	297	424	368	525	521	3436	100
	外国	異性間の性的接触	0	0	4	0	11	15	71	162	79	66	57	67	64	54	47	42	49	43	831	48.8
		同性間の性的接触*1	0	0	5	4	13	4	4	8	4	6	8	12	10	12	6	15	13	24	148	8.7
		静注薬物濫用	0	0	0	0	1	0	2	3	1	1	0	0	2	3	2	1	1	0	17	1.0
		母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	0	1	0	0	0	2	10	0.6
		その他*2	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2	3	2	5	1	3	3	2	1	25	1.5
		不明	0	0	0	0	2	9	54	144	68	55	41	63	48	54	48	33	31	23	673	39.5
		合計	0	0	10	4	27	29	131	318	153	132	111	146	129	125	106	94	96	93	1704	100
	合計	異性間の性的接触	0	0	21	6	36	26	114	232	136	148	147	169	186	179	207	169	213	203	2192	42.6
		同性間の性的接触*1	0	0	25	12	35	20	25	44	45	77	68	102	121	134	201	218	314	329	1770	34.4
		静注薬物濫用	0	0	0	0	1	1	3	3	1	1	1	1	2	5	3	1	3	1	27	0.5
母子感染		0	0	0	0	0	2	0	1	1	2	3	8	2	1	2	3	1	3	29	0.6	
その他*2		0	0	7	5	5	4	1	6	4	2	3	4	8	2	13	10	12	5	91	1.8	
不明		0	0	2	0	3	13	57	156	90	68	55	92	78	101	104	61	78	73	1031	20.1	
合計		0	0	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	5140	100	
AIDS	日本	異性間の性的接触	0	0	3	4	4	6	8	18	22	34	59	85	97	85	121	131	107	109	893	46.9
		同性間の性的接触*1	5	2	5	5	9	6	12	12	14	40	38	45	33	44	53	66	84	81	554	29.1
		静注薬物濫用	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	6	0.3
		母子感染	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	1	2	1	1	1	0	0	11	0.6
		その他*2	0	1	1	1	2	2	0	0	2	3	0	3	2	2	3	7	7	8	44	2.3
		不明	0	0	0	1	2	5	4	7	17	22	21	35	48	36	46	54	47	53	398	20.9
		合計	5	3	9	11	17	21	24	37	58	100	119	171	182	168	224	260	245	252	1906	100
	外国	異性間の性的接触	0	0	2	2	0	2	1	3	12	12	21	33	29	19	44	31	32	24	267	41.1
		同性間の性的接触*1	1	2	3	1	3	4	6	2	2	5	2	4	2	2	2	7	7	3	58	8.9
		静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	2	2	1	0	0	1	11	1.7
		母子感染	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	4	0.6
		その他*2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	1	0	3	5	4	1	20	3.1
		不明	0	0	0	0	1	4	6	8	13	15	25	22	34	40	27	25	43	27	290	44.6
		合計	1	2	5	3	4	10	14	14	28	36	50	63	68	63	77	69	87	56	650	100
	合計	異性間の性的接触	0	0	5	6	4	8	9	21	34	46	80	118	126	104	165	162	139	133	1160	45.4
		同性間の性的接触*1	6	4	8	6	12	10	18	14	16	45	40	49	35	46	55	73	91	84	612	23.9
		静注薬物濫用	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	4	2	2	1	1	0	2	17	0.7
母子感染		0	0	0	0	0	1	1	0	3	2	0	1	2	1	1	2	1	0	15	0.6	
その他*2		0	1	1	1	2	2	0	1	2	4	2	5	3	2	6	12	11	9	64	2.5	
不明		0	0	0	1	3	9	10	15	30	37	46	57	82	76	73	79	90	80	688	26.9	
合計		6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	2556	100	

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

表5 HIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別年次推移

診断区分	国籍	性別	感染経路	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%	
HIV	日本	男	異性間の性的接触	0	0	11	5	11	6	27	56	42	51	74	67	93	91	122	101	126	130	1013	33.7	
			同性間の性的接触*1	0	0	20	8	22	16	21	36	41	71	60	90	111	122	195	203	300	305	1621	53.9	
			静注薬物濫用	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	2	1	10	0.3
			母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	2	0	1	2	1	12	0.4
			その他*2	0	0	3	2	2	0	1	3	1	0	0	0	2	2	1	7	7	8	1	40	1.3
			不明	0	0	0	0	0	4	2	12	18	12	12	12	25	26	45	53	23	38	43	313	10.4
			合計	0	0	34	15	35	27	52	108	102	134	147	189	234	261	379	336	475	481	3009	100	
	女	異性間の性的接触	0	0	6	1	14	5	16	14	15	31	16	35	29	34	38	26	38	30	348	81.5		
		同性間の性的接触*1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.2	
		静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		母子感染	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	7	1.6	
		その他*2	0	0	3	3	3	3	0	2	3	0	0	0	1	0	3	0	2	3	26	6.1		
		不明	0	0	2	0	1	0	1	0	4	1	2	4	4	2	3	5	9	7	45	10.5		
		合計	0	0	11	4	18	10	17	16	22	32	19	41	34	36	45	32	50	40	427	100		
	外国	男	異性間の性的接触	0	0	4	0	6	3	10	13	15	15	18	25	15	18	12	16	25	19	214	35.0	
			同性間の性的接触*1	0	0	5	4	13	4	4	8	4	6	8	12	10	12	6	15	13	24	148	24.2	
			静注薬物濫用	0	0	0	0	1	0	2	3	1	1	0	0	2	3	1	1	1	0	16	2.6	
			母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0.5	
			その他*2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	3	1	2	0	2	1	0	1	14	2.3	
			不明	0	0	0	0	1	4	10	20	13	12	18	27	20	24	18	20	20	10	217	35.5	
			合計	0	0	10	4	21	11	26	45	33	37	47	65	49	58	39	53	59	55	612	100	
女	異性間の性的接触	0	0	0	0	5	12	61	149	64	51	39	42	49	36	35	26	24	24	617	56.5			
	同性間の性的接触*1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1			
	母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	1	7	0.6			
	その他*2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	1	1	2	2	0	11	1.0			
	不明	0	0	0	0	1	5	44	124	55	43	23	36	28	30	30	13	11	13	456	41.8			
	合計	0	0	0	0	6	18	105	273	120	95	64	81	80	67	67	41	37	38	1092	100			
AIDS	日本	男	異性間の性的接触	0	0	1	2	3	5	8	17	19	31	49	77	88	79	114	116	93	97	799	45.5	
			同性間の性的接触*1	5	2	5	5	9	6	12	12	14	40	38	45	33	44	53	66	83	81	553	31.5	
			静注薬物濫用	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	5	0.3	
			母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2	1	0	1	0	0	8	0.5
			その他*2	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	3	2	2	3	5	4	7	32	1.8	
			不明	0	0	0	1	2	5	4	7	16	19	20	28	45	32	42	50	41	47	359	20.4	
			合計	5	3	6	9	15	18	24	36	53	91	108	156	170	158	212	239	221	232	1756	100	
	女	異性間の性的接触	0	0	2	2	1	1	0	1	3	3	10	8	9	6	7	15	14	12	94	62.7		
		同性間の性的接触*1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.7		
		静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7		
		母子感染	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2.0		
		その他*2	0	0	1	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	3	1	12	8.0		
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	7	3	4	4	6	6	39	26.0			
		合計	0	0	3	2	2	3	0	1	5	9	11	15	12	10	12	21	24	20	150	100		
	外国	男	異性間の性的接触	0	0	0	2	0	2	1	3	7	8	12	25	15	13	23	15	18	11	155	35.2	
			同性間の性的接触*1	1	2	3	1	3	4	6	2	2	5	2	4	2	2	2	7	7	2	57	13.0	
			静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	2	2	1	0	0	1	11	2.5	
			母子感染	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2	
			その他*2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	1	2	4	1	13	3.0
			不明	0	0	0	0	1	4	6	7	9	12	17	13	20	25	19	17	32	21	203	46.1	
			合計	1	2	3	3	4	10	14	13	19	28	33	45	39	42	46	41	61	36	440	100	
女	異性間の性的接触	0	0	2	0	0	0	0	0	5	4	9	8	14	6	21	16	14	13	112	53.3			
	同性間の性的接触*1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.5			
	静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
	母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1.4			
	その他*2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	3	0	0	7	3.3			
	不明	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	8	9	14	15	8	8	11	6	87	41.4			
	合計	0	0	2	0	0	0	0	1	9	8	17	18	29	21	31	28	26	20	210	100			

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

表6-1 HIV感染者及びAIDS患者の年齢階級別年次推移

診断区分	年齢階級	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%
HIV	10歳未満	0	0	0	0	1	2	0	1	1	2	3	8	2	1	2	3	1	3	30	0.6
	10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
	15-19	0	0	0	1	1	3	23	38	10	8	6	6	3	6	5	4	7	6	127	2.5
	20-24	0	0	6	5	9	10	76	176	89	65	44	52	50	40	56	52	68	59	857	16.7
	25-29	0	0	14	4	20	17	33	111	65	76	75	90	102	107	129	96	153	153	1245	24.2
	30-34	0	0	11	5	13	9	24	33	43	41	53	89	75	101	98	108	134	134	971	18.9
	35-39	0	0	13	0	10	7	10	30	21	33	25	46	45	48	64	64	90	75	581	11.3
	40-44	0	0	5	4	11	8	14	23	20	32	20	30	38	22	51	26	49	53	406	7.9
	45-49	0	0	3	1	6	5	9	9	13	17	20	20	34	28	53	35	41	42	336	6.5
	50-54	0	0	2	0	1	1	5	9	6	8	17	14	16	21	30	22	35	36	223	4.3
	55-59	0	0	1	1	2	2	2	4	5	8	6	11	16	21	22	22	17	28	168	3.3
	60歳以上	0	0	0	2	5	1	3	5	4	7	6	10	16	25	20	30	26	24	184	3.6
	不明	0	0	0	0	1	1	1	3	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	11	0.2
		合計	0	0	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	5140
AIDS	10歳未満	0	0	0	0	0	1	1	0	3	2	0	1	2	1	1	2	1	0	15	0.6
	10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0.1
	20-24	0	0	0	4	1	0	2	2	7	5	7	9	15	5	10	10	8	5	90	3.5
	25-29	0	0	3	1	6	4	2	10	10	23	28	38	22	22	33	27	39	25	293	11.5
	30-34	2	2	5	2	4	12	7	11	13	22	19	38	55	41	49	53	55	45	435	17.0
	35-39	2	2	1	1	3	3	11	6	8	22	25	29	34	29	35	43	56	47	357	14.0
	40-44	1	0	4	2	5	5	5	9	11	23	22	31	26	30	43	40	44	48	349	13.7
	45-49	0	0	1	3	1	3	7	3	11	15	33	27	31	41	35	40	48	33	332	13.0
	50-54	1	1	0	1	0	0	1	6	12	10	19	23	33	22	35	50	31	43	288	11.3
	55-59	0	0	0	0	1	2	2	3	7	3	7	20	17	22	27	34	25	29	199	7.8
	60歳以上	0	0	0	0	0	1	0	1	3	11	8	18	15	18	32	30	25	33	195	7.6
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		合計	6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	2556

表6-2 HIV感染者の国籍別、性別、年齢階級別年次推移

国籍	性別	年齢階級	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%	
日本	男	10歳未満	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4	2	0	1	2	1	1	13	0.4	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		15-19	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	2	1	1	3	4	2	4	22	0.7	
		20-24	0	0	2	4	0	2	4	12	20	13	11	22	19	20	37	34	49	43	292	9.7	
		25-29	0	0	9	3	8	4	8	18	15	19	35	31	55	58	79	61	128	122	653	21.7	
		30-34	0	0	7	4	8	4	10	14	15	20	25	38	33	55	65	72	96	112	578	19.2	
		35-39	0	0	10	0	7	4	5	20	10	20	13	25	25	28	45	45	64	47	368	12.2	
		40-44	0	0	2	2	5	6	9	16	17	23	18	23	27	16	43	20	37	43	307	10.2	
		45-49	0	0	2	1	1	5	6	7	11	17	18	16	32	23	47	31	30	32	279	9.3	
		50-54	0	0	1	0	1	0	4	9	6	6	14	11	13	19	26	21	28	31	190	6.3	
		55-59	0	0	1	1	1	1	2	4	4	7	6	8	15	17	16	17	16	23	139	4.6	
		60歳以上	0	0	0	0	3	1	3	5	4	7	5	9	12	23	17	29	24	23	165	5.5	
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0.1	
		合計	0	0	34	15	35	27	52	108	102	134	147	189	234	261	379	336	475	481	3009	100	
女	10歳未満	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	7	1.6		
	10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	15-19	0	0	0	1	0	0	1	3	1	3	2	0	2	3	2	0	4	1	23	5.4		
	20-24	0	0	4	1	5	3	4	4	2	7	3	7	8	5	6	5	13	5	82	19.2		
	25-29	0	0	3	0	6	2	7	3	8	11	3	15	6	11	10	9	7	8	109	25.5		
	30-34	0	0	2	0	2	0	3	2	5	3	3	6	6	2	9	6	9	6	64	15.0		
	35-39	0	0	1	0	1	1	0	1	3	3	3	2	2	4	2	2	5	5	35	8.2		
	40-44	0	0	0	0	0	2	1	2	1	2	0	1	2	1	1	1	4	6	24	5.6		
	45-49	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	1	2	0	4	3	2	3	4	24	5.6		
	50-54	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	3	2	3	1	4	1	22	5.2		
	55-59	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	1	2	5	4	1	4	22	5.2		
	60歳以上	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	4	2	3	1	0	0	15	3.5		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	合計	0	0	11	4	18	10	17	16	22	32	19	41	34	36	45	32	50	40	427	100		
外国	男	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0.5		
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.2	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.2	
		20-24	0	0	0	0	1	0	4	10	2	6	4	3	2	1	4	6	0	2	45	7.4	
		25-29	0	0	2	1	5	4	7	14	10	9	16	21	11	15	12	9	11	14	161	26.3	
		30-34	0	0	2	1	3	3	4	10	13	10	16	23	17	24	9	19	18	8	180	29.4	
		35-39	0	0	2	0	2	2	4	6	6	6	7	11	11	10	7	12	15	15	116	19.0	
		40-44	0	0	3	2	6	0	4	4	2	5	1	4	6	4	3	5	6	4	59	9.6	
		45-49	0	0	0	0	3	0	3	1	0	0	1	2	2	1	2	1	5	4	25	4.1	
		50-54	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	4	11	1.8	
		55-59	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	6	1.0	
		60歳以上	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0.5	
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2	
		合計	0	0	10	4	21	11	26	45	33	37	47	65	49	58	39	53	59	55	612	100	
女	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	1	7	0.6		
	10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	15-19	0	0	0	0	1	3	21	33	9	4	3	4	0	1	0	0	1	1	81	7.4		
	20-24	0	0	0	0	3	5	64	150	65	39	26	20	21	14	9	7	6	9	438	40.1		
	25-29	0	0	0	0	1	7	11	76	32	37	21	23	30	23	28	17	7	9	322	29.5		
	30-34	0	0	0	0	0	2	7	7	10	8	9	22	19	20	15	11	11	8	149	13.6		
	35-39	0	0	0	0	0	0	1	3	2	4	2	8	7	6	10	5	6	8	62	5.7		
	40-44	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	2	3	1	4	0	2	0	16	1.5		
	45-49	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	2	8	0.7		
	50-54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1		
	60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1	
	不明	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0.6		
	合計	0	0	0	0	6	18	105	273	120	95	64	81	80	67	67	41	37	38	1092	100		

表6-3 AIDS患者の国籍別、性別、年齢階級別年次推移

国籍	性別	年齢階級	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%	
日本	男	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2	1	0	1	0	0	8	0.5	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		20-24	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	2	2	4	1	3	6	7	2	31	1.8	
		25-29	0	0	0	0	5	2	1	4	4	10	7	13	10	8	11	14	20	15	124	7.1	
		30-34	1	1	2	1	2	7	1	5	2	13	10	20	20	20	15	23	30	35	26	214	12.2
		35-39	2	2	0	1	2	2	8	5	7	16	12	17	24	14	19	24	31	31	217	12.4	
		40-44	1	0	3	2	4	4	4	9	9	18	20	26	20	24	36	26	27	34	267	15.2	
		45-49	0	0	1	3	0	1	6	3	8	12	30	23	28	38	33	38	36	26	286	16.3	
		50-54	1	0	0	1	0	0	1	6	10	9	16	22	31	18	33	45	25	42	260	14.8	
		55-59	0	0	0	0	1	2	2	3	6	3	6	17	17	21	23	30	20	27	178	10.1	
		60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	10	5	15	14	18	31	25	20	29	171	9.7
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計		5	3	6	9	15	18	24	36	53	91	108	156	170	158	212	239	221	232	1756	100		
日本	女	10歳未満	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2.0	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.7	
		20-24	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	7	4.7
		25-29	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	2	1	2	5	1	6	2	25	16.7	
		30-34	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	4	1	1	2	4	1	21	14.0	
		35-39	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	4	0	2	3	3	18	12.0
		40-44	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	0	2	5	2	6	23	15.3
		45-49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	5	1	10	6.7
		50-54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	2	1	2	2	0	13	8.7	
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	3	2	2	11	7.3
		60歳以上	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	3	1	0	1	4	0	4	4	18	12.0
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計		0	0	3	2	2	3	0	1	5	9	11	15	12	10	12	21	24	20	150	100		
外国	男	10歳未満	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		20-24	0	0	0	3	0	0	1	1	2	3	2	3	2	1	0	1	0	0	19	4.3	
		25-29	0	0	1	0	0	2	1	6	3	9	10	18	5	8	8	5	6	3	85	19.3	
		30-34	1	1	2	0	2	5	6	5	8	7	6	13	22	16	16	16	7	11	144	32.7	
		35-39	0	0	0	0	1	0	3	1	1	3	10	8	4	8	13	8	16	10	86	19.5	
		40-44	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	1	1	4	5	4	6	15	7	49	11.1	
		45-49	0	0	0	0	1	2	1	0	2	3	2	2	2	2	1	1	6	4	29	6.6	
		50-54	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	3	3	1	13	3.0	
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	1	3	0	9	2.0	
		60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	1.1
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計		1	2	3	3	4	10	14	13	19	28	33	45	39	42	46	41	61	36	440	100		
外国	女	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1.4	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1.0	
		20-24	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	3	8	3	7	2	1	2	33	15.7	
		25-29	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	10	5	6	4	9	7	7	5	59	28.1	
		30-34	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	3	9	9	9	5	9	7	56	26.7	
		35-39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	5	3	3	9	6	3	36	17.1	
		40-44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	3	0	1	10	4.8	
		45-49	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	2	7	3.3	
		50-54	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1.0	
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5	
		60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.5	
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計		0	0	2	0	0	0	0	1	9	8	17	18	29	21	31	28	26	20	210	100		

表7 HIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染地別年次推移

診断区分	国籍	性	感染地	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%
HIV	日本	男	国内	0	0	0	0	12	18	28	64	70	93	109	141	175	197	297	273	415	412	2304	76.6
			海外	0	0	0	0	21	5	20	30	18	21	18	19	32	22	26	29	24	29	314	10.4
		不明	0	0	34	15	2	4	4	14	14	20	20	29	27	42	56	34	36	40	391	13.0	
		合計	0	0	34	15	35	27	52	108	102	134	147	189	234	261	379	336	475	481	3009	100	
	女	国内	0	0	0	0	10	5	16	12	13	24	13	30	27	26	38	23	35	27	299	70.0	
		海外	0	0	0	0	3	5	1	3	7	4	3	9	2	5	3	5	9	4	63	14.8	
		不明	0	0	11	4	5	0	0	1	2	4	3	2	5	5	4	4	4	6	9	65	15.2
		合計	0	0	11	4	18	10	17	16	22	32	19	41	34	36	45	32	50	40	427	100	
	外国	男	国内	0	0	0	0	0	0	2	1	2	4	4	10	8	14	9	11	24	23	112	18.3
			海外	0	0	0	0	12	10	20	29	23	20	21	31	23	19	13	12	14	17	264	43.1
		不明	0	0	10	4	9	1	4	15	8	13	22	24	18	25	17	30	21	15	236	38.6	
		合計	0	0	10	4	21	11	26	45	33	37	47	65	49	58	39	53	59	55	612	100	
女	国内	0	0	0	0	0	0	2	5	12	16	14	16	15	16	12	6	10	12	136	12.5		
	海外	0	0	0	0	2	10	75	126	31	20	13	19	19	15	21	11	12	13	387	35.4		
	不明	0	0	0	0	4	8	28	142	77	59	37	46	46	36	34	24	15	13	569	52.1		
	合計	0	0	0	0	6	18	105	273	120	95	64	81	80	67	67	41	37	38	1092	100		
AIDS	日本	男	国内	0	0	0	0	2	6	14	17	23	44	51	89	105	105	147	174	172	169	1118	63.7
			海外	0	0	0	0	7	9	7	13	14	23	28	30	31	26	34	30	21	35	308	17.5
		不明	5	3	6	9	6	3	3	6	16	24	29	37	34	27	31	35	28	28	330	18.8	
		合計	5	3	6	9	15	18	24	36	53	91	108	156	170	158	212	239	221	232	1756	100	
	女	国内	0	0	0	0	1	2	0	1	2	7	8	8	6	5	7	15	13	11	86	57.3	
		海外	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	2	3	4	3	1	6	5	32	21.3	
		不明	0	0	3	2	1	0	0	0	1	0	0	5	3	1	2	5	5	4	32	21.3	
		合計	0	0	3	2	2	3	0	1	5	9	11	15	12	10	12	21	24	20	150	100	
	外国	男	国内	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	2	1	8	4	11	2	33	7.5
			海外	0	0	0	0	1	5	11	6	16	14	16	32	18	19	25	21	19	17	220	50.0
		不明	1	2	3	3	3	4	2	7	3	13	17	11	19	22	13	16	31	17	187	42.5	
		合計	1	2	3	3	4	10	14	13	19	28	33	45	39	42	46	41	61	36	440	100	
女	国内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	1	3	1	6	4	22	10.5		
	海外	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	8	6	10	8	20	14	10	6	88	41.9		
	不明	0	0	2	0	0	0	0	1	4	6	8	11	15	12	8	13	10	10	100	47.6		
	合計	0	0	2	0	0	0	0	1	9	8	17	18	29	21	31	28	26	20	210	100		





表9-1 異性間性的接触で感染した日本国籍男性HIV感染者及びAIDS患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移

診断区分	項目	区分	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%	
HIV	合計		0	0	11	5	11	6	27	56	42	51	74	67	93	91	122	101	126	130	1013	100	
	年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	10	
		20-24	0	0	1	0	0	1	3	6	8	2	3	4	4	4	10	4	2	3	55		
		25-29	0	0	6	2	2	0	5	6	5	4	16	9	14	17	21	9	28	24	168		
		30-34	0	0	2	2	3	2	5	4	6	12	14	16	9	16	25	16	24	26	182		
		35-39	0	0	1	0	2	2	4	11	3	8	7	9	10	10	12	24	16	14	133		
		40-44	0	0	0	1	0	1	2	13	9	8	6	11	15	13	16	8	16	16	135		
		45-49	0	0	1	0	1	0	5	5	6	10	12	6	18	10	15	12	8	13	122		
		50-54	0	0	0	0	1	0	2	6	4	2	12	6	7	9	12	8	12	14	95		
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	2	8	5	5	10	7	9	53		
		60歳以上	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	2	3	7	6	5	9	12	10	60		
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染地	国内		0	0	0	0	1	3	13	32	28	29	50	48	61	69	83	70	101	100	688	
		海外		0	0	0	0	10	3	13	22	11	17	12	15	26	16	24	21	15	17	222	
		不明		0	0	11	5	0	0	1	2	3	5	12	4	6	6	15	10	10	13	103	
	報告地	北海道・東北		0	0	0	1	1	0	2	1	2	2	4	3	1	3	3	6	4	7	40	
		(ブロック*1) 関東・甲信越*2		0	0	5	1	4	1	8	26	18	28	32	34	45	36	48	32	44	38	400	
		東京		0	0	5	2	4	4	10	15	11	11	27	22	29	33	46	35	41	47	342	
		東海		0	0	0	0	1	0	0	4	2	2	2	4	9	3	5	8	15	9	64	
		北陸		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2	3	0	1	10	
		近畿		0	0	0	0	0	1	3	6	6	6	6	2	4	10	12	12	16	19	103	
		中国・四国		0	0	0	1	1	0	1	2	2	1	1	1	2	2	3	3	2	5	27	
		九州		0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	0	3	4	3	2	4	4	27	
		AIDS	合計		0	0	1	2	3	5	8	17	19	31	49	77	88	79	114	116	93	97	799
		年齢	10歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10-14			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15-19			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20-24			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	3	1	9	
	25-29			0	0	0	0	2	0	0	2	2	1	3	7	4	4	6	5	3	3	42	
	30-34			0	0	1	1	0	3	0	2	2	5	4	7	8	7	8	10	8	5	71	
35-39			0	0	0	0	1	1	2	3	3	8	7	9	14	7	12	8	15	11	101		
40-44			0	0	0	0	0	0	2	3	3	5	12	9	9	10	17	14	13	17	114		
45-49			0	0	0	1	0	1	2	1	1	12	17	15	22	18	20	18	19	148			
50-54			0	0	0	0	0	0	1	4	4	5	6	13	15	10	21	26	13	16	134		
55-59			0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	3	11	12	11	13	21	8	15	100		
60歳以上			0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	2	4	10	8	18	9	12	10	80		
不明			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感染地	国内			0	0	0	0	0	3	4	7	7	11	21	49	49	50	79	79	74	58	491	
	海外		0	0	0	0	3	2	4	9	9	18	20	18	27	23	29	26	14	30	232		
	不明		0	0	1	2	0	0	1	3	2	8	10	12	6	6	11	5	9	76			
報告地	北海道・東北		0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	3	2	7	4	5	2	1	2	31		
	(ブロック*1) 関東・甲信越*2		0	0	0	1	0	2	2	6	10	10	24	43	40	43	58	59	44	47	389		
	東京		0	0	0	0	0	3	3	4	5	9	11	19	25	19	29	26	27	24	204		
	東海		0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	4	7	3	4	8	5	4	50			
	北陸		0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	0	1	0	2	9		
	近畿		0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	3	9	6	7	13	10	10	65		
	中国・四国		0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1	1	2	3	2	1	14		
	九州		0	0	1	0	0	0	3	1	1	2	2	3	3	1	5	4	4	7	37		

\*1 ブロック区分については、表10-1を参照。

\*2 東京都を除く。



表9-3 異性間性的接触で感染した日本国籍女性HIV感染者及びAIDS患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移

診断区分	項目	区分	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%		
HIV	合計		0	0	6	1	14	5	16	14	15	31	16	35	29	34	38	26	38	30	348	100		
		年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	2	0	2	3	2	0	4	1	22	6.3	
		20-24	0	0	3	1	4	2	3	4	1	6	3	7	7	5	6	5	12	4	73	21.0		
		25-29	0	0	1	0	6	1	7	3	6	11	2	14	5	10	8	8	3	4	89	25.6		
		30-34	0	0	2	0	2	0	3	2	4	3	2	4	4	2	8	4	6	5	51	14.7		
		35-39	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	3	2	2	4	2	2	4	5	30	8.6		
		40-44	0	0	0	0	0	2	1	1	0	2	0	1	2	1	1	1	3	5	20	5.7		
		45-49	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	4	3	2	2	2	17	4.9		
		50-54	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	3	2	3	1	3	0	20	5.7		
		55-59	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	0	2	4	3	1	4	19	5.5		
		60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	7	2.0		
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	感染地	国内		0	0	0	0	7	2	15	11	11	24	11	26	25	25	33	20	32	21	263	75.6	
		海外		0	0	0	0	3	3	1	2	4	4	3	7	2	5	3	5	6	4	52	14.9	
		不明		0	0	6	1	4	0	0	1	0	3	2	2	2	2	1	0	5	33	9.5		
	報告地	北海道・東北		0	0	0	0	1	0	1	1	3	0	0	3	1	2	1	0	6	3	22	6.3	
		(ブロック*1) 関東・甲信越*2		0	0	2	0	5	1	4	3	6	12	7	14	16	15	24	9	12	7	137	39.4	
		東京		0	0	3	1	7	3	3	2	3	4	5	14	7	9	6	9	13	10	99	28.4	
		東海		0	0	0	0	0	0	2	1	0	5	1	1	3	1	0	3	5	7	29	8.3	
		北陸		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4	1.1	
		近畿		0	0	0	0	0	0	2	2	1	7	1	3	1	4	2	1	0	1	25	7.2	
		中国・四国		0	0	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	11	3.2	
		九州		0	0	0	0	0	1	1	3	2	1	0	0	1	2	4	2	2	2	21	6.0	
		AIDS	合計		0	0	2	2	1	1	0	1	3	3	10	8	9	6	7	15	14	12	94	100
				年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
			15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1.1
			20-24	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4	4.3	
	25-29		0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	4	1	4	2	20	21.3		
	30-34		0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	3	0	0	1	2	1	13	13.8		
	35-39		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	4	0	1	3	2	14	14.9		
	40-44		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	4	1	2	12	12.8		
	45-49		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	0	5	5.3		
	50-54		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	1	1	1	0	8	8.5		
	55-59		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	2	7	7.4		
	60歳以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	3	0	3	10	10.6		
	不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
感染地	国内			0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	7	6	5	3	5	13	7	10	62	66.0	
	海外			0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	2	3	3	2	1	5	2	23	24.5	
	不明			0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	9	9.6	
報告地	北海道・東北			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	8	8.5	
	(ブロック*1) 関東・甲信越*2			0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	5	4	3	9	4	6	38	40.4	
	東京			0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	1	3	2	3	2	18	19.1	
	東海			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	2	1	8	8.5	
	北陸			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.1	
	近畿			0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	3	0	10	10.6	
	中国・四国			0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5	5.3	
	九州			0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	6	6.4	

\*1 ブロック区分については、表10-1を参照。

\*2 東京都を除く。

表9-4 異性間性的接触で感染した外国国籍男性HIV感染者及びAIDS患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移

診断区分	項目	区分	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%		
HIV	合計		0	0	4	0	6	3	10	13	15	15	18	25	15	18	12	16	25	19	214	100		
	年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		20-24	0	0	0	0	0	0	2	5	1	4	1	1	1	0	0	3	0	0	18	8.4		
		25-29	0	0	0	0	2	1	2	2	6	4	5	5	4	5	6	2	3	1	48	22.4		
		30-34	0	0	0	0	2	2	3	3	6	4	7	12	4	8	2	6	10	5	74	34.6		
		35-39	0	0	2	0	0	0	2	2	0	1	3	6	3	3	1	5	4	8	40	18.7		
		40-44	0	0	2	0	1	0	1	1	2	2	1	0	3	2	1	0	3	0	19	8.9		
		45-49	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	1	8	3.7		
		50-54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	1.9		
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.5		
		60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.5		
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5		
	感染地	国内		0	0	0	0	0	1	1	2	3	2	7	3	5	5	3	11	6	49	22.9		
		海外		0	0	0	0	5	3	9	9	11	9	14	14	9	7	3	6	8	11	118	55.1	
		不明		0	0	4	0	1	0	0	3	2	3	2	4	3	6	4	7	6	2	47	22.0	
	報告地	北海道・東北 (ブロック*1)関東・甲信越*2		0	0	1	0	0	0	0	7	4	5	9	12	10	7	4	5	10	7	81	37.9	
		東京		0	0	3	0	4	3	4	4	10	5	5	6	2	5	6	7	9	6	79	36.9	
		東海		0	0	0	0	2	0	3	0	1	1	1	6	0	3	0	3	5	3	28	13.1	
		北陸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.9	
		近畿		0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	1	2	3	2	0	0	1	17	7.9	
		中国・四国		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.9	
		九州		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.9	
		AIDS	合計		0	0	0	2	0	2	1	3	7	8	12	25	15	13	23	15	18	11	155	100
		年齢	10歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	10-14			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
15-19			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
20-24			0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	6	3.9		
25-29			0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	12	1	2	3	1	0	1	27	17.4			
30-34			0	0	0	0	0	0	0	2	4	3	7	10	4	8	6	2	3	52	33.5			
35-39			0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	2	3	7	4	5	5	33	21.3		
40-44			0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	3	2	1	8	1	19	12.3		
45-49			0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	1	0	0	1	2	1	11	7.1		
50-54			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4	2.6		
55-59			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	1.9		
60歳以上			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
不明			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
感染地	国内		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	5	2	3	1	16	10.3			
	海外		0	0	0	0	0	1	1	2	7	4	8	18	9	10	16	7	9	7	99	63.9		
	不明		0	0	0	2	0	1	0	1	0	3	4	5	4	3	2	6	6	3	40	25.8		
報告地	北海道・東北 (ブロック*1)関東・甲信越*2		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1.3			
	東京		0	0	0	1	0	1	0	1	2	1	4	10	3	1	8	3	3	0	38	24.5		
	東海		0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	3	6	2	1	1	2	1	2	26	16.8		
	北陸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1.3		
	近畿		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	10	6.5		
	中国・四国		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	九州		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	1.9		

\*1 ブロック区分については、表10-1を参照。

\*2 東京都を除く。

表9-5 同性間性的接触で感染した外国国籍男性HIV感染者及びAIDS患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移

診断区分	項目	区分	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%		
HIV	合計		0	0	5	4	13	4	4	8	4	6	8	12	10	12	6	15	13	24	148	100		
		年齢																						
		10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		20-24	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	1	1	1	1	0	1	10	6.8		
		25-29	0	0	1	1	2	2	1	1	0	2	3	4	3	5	3	4	3	9	44	29.7		
		30-34	0	0	2	1	1	0	0	1	1	1	2	3	5	5	0	4	4	2	32	21.6		
		35-39	0	0	0	0	2	0	0	3	3	1	1	2	0	1	1	2	4	6	26	17.6		
		40-44	0	0	1	2	4	0	1	1	0	2	0	1	0	0	1	4	1	2	20	13.5		
		45-49	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	8	5.4		
		50-54	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	3.4	
		55-59	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1.4	
		60歳以上	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	感染地	国内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5	8	2	7	12	16	54	36.5		
		海外	0	0	0	0	6	4	4	8	3	5	1	2	4	2	2	3	0	4	48	32.4		
		不明	0	0	5	4	7	0	0	0	1	1	5	8	1	2	2	5	1	4	46	31.1		
	報告地	北海道・東北 (ブロック*1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2.0		
		関東・甲信越*2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1	1	4	2	0	2	2	2	20	13.5			
		東京	0	0	4	3	12	2	3	3	4	3	5	7	6	8	3	12	10	15	100	67.6		
		東海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	1	1	1	8	5.4		
		北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		近畿	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	3	1	0	0	4	14	9.5		
		中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2.0		
		九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	AIDS	合計		1	2	3	1	3	4	6	2	2	5	2	4	2	2	2	7	7	2	57	100	
			年齢																					
			10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
			10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
			15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		20-24	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	5.3		
		25-29	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	8	14.0		
		30-34	1	1	2	0	1	2	3	1	1	2	1	1	1	1	0	1	0	0	19	33.3		
		35-39	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4	1	12	21.1		
		40-44	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	5	8.8		
		45-49	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5	8.8		
		50-54	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	5.3		
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1.8		
		60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.8	
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
感染地		国内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	9	15.8	
		海外	0	0	0	0	0	1	6	2	2	3	0	4	2	1	1	4	2	0	28	49.1		
		不明	1	2	3	1	3	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	3	0	1	20	35.1		
報告地		北海道・東北 (ブロック*1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		関東・甲信越*2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	5	3	1	14	24.6		
		東京	1	2	2	0	2	4	4	0	2	3	1	1	1	2	2	0	3	1	31	54.4		
		東海	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	5	8.8			
		北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3.5		
		近畿	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3.5		
		中国・四国	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.8		
		九州	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3.5		

\*1 ブロック区分については、表10-1を参照。

\*2 東京都を除く。

表9-6 異性間性的接触で感染した外国国籍女性HIV感染者及びAIDS患者の年齢階級別、感染地別、報告地別の年次推移

診断区分	項目	区分	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%		
HIV	合計		0	0	0	0	5	12	61	149	64	51	39	42	49	36	35	26	24	24	617	100		
	年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		15-19	0	0	0	0	1	2	13	20	6	3	3	3	0	1	0	0	0	0	1	53	8.6	
		20-24	0	0	0	0	2	4	39	81	35	15	16	11	10	8	5	4	6	4	240	38.9		
		25-29	0	0	0	0	1	3	5	41	16	26	14	15	20	10	12	13	4	7	187	30.3		
		30-34	0	0	0	0	0	2	2	4	6	5	5	10	13	11	9	7	7	4	85	13.8		
		35-39	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	4	4	5	2	2	6	30	4.9	
		40-44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	3	0	2	0	9	1.5		
		45-49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	6	1.0	
		50-54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		55-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.2	
	60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
		不明	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	1.0		
	感染地	国内	0	0	0	0	0	0	2	4	10	14	12	14	15	15	12	5	6	11	120	19.4		
		海外	0	0	0	0	2	7	50	96	26	11	10	11	13	10	11	7	8	7	269	43.6		
		不明	0	0	0	0	3	5	9	49	28	26	17	17	21	11	12	14	10	6	228	37.0		
	報告地	北海道・東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.2		
		(ブロック*1) 関東・甲信越*2	0	0	0	0	3	6	55	98	44	41	20	30	27	19	19	16	14	13	405	65.6		
		東京	0	0	0	0	2	5	3	37	14	7	13	6	12	8	11	4	7	1	130	21.1		
		東海	0	0	0	0	1	3	9	4	1	5	5	3	4	2	5	1	5	48	7.8			
		北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0.6		
		近畿	0	0	0	0	0	0	0	5	1	1	1	1	5	4	1	0	0	4	23	3.7		
		中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	4	0.6		
		九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.3		
			不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	AIDS	合計		0	0	2	0	0	0	0	5	4	9	8	14	6	21	16	14	13	112	100		
		年齢	10歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
			10-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
			15-19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1.8	
			20-24	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4	0	5	1	0	1	15	13.4	
			25-29	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	5	3	4	2	5	5	5	3	37	33.0	
30-34			0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	4	2	7	2	5	5	29	25.9			
35-39			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	5	3	2	18	16.1		
40-44			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	3	0	1	8	7.1		
45-49			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	2.7		
50-54			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
55-59			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
60歳以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
感染地		国内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	1	3	1	4	3	18	16.1			
		海外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	4	6	4	14	9	5	3	51	45.5		
		不明	0	0	2	0	0	0	0	3	3	4	3	5	1	4	6	5	7	43	38.4			
報告地		北海道・東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		(ブロック*1) 関東・甲信越*2	0	0	1	0	0	0	0	0	4	3	4	5	11	3	12	10	8	9	70	62.5		
		東京	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	1	6	4	2	4	25	22.3		
		東海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	3	2	1	0	10	8.9			
		北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		近畿	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	3	0	7	6.3			
		中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
			不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	

\*1 ブロック区分については、表10-1を参照。

\*2 東京都を除く。















表11 AIDS報告症例における指標疾患の分布

国籍	指標疾患	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合計	合計の%
日本	カンジダ症	0	0	0	0	2	4	4	3	16	17	25	32	41	23	68	86	72	82	475	24.9
国籍	クリプトコックス症	0	0	0	0	0	2	1	4	2	2	7	5	7	0	3	7	7	5	52	2.7
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	1	8	0.4
	サイトメガロウイルス感染症	0	0	0	0	1	2	1	4	3	6	8	24	21	13	31	29	28	33	204	10.7
	単純ヘルペスウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	2	2	2	1	7	10	6	10	46	2.4
	カボジ肉腫	0	0	0	0	1	2	3	2	4	8	4	3	10	7	11	7	4	7	73	3.8
	原発性脳リンパ腫	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	4	2	1	2	1	4	18	0.9
	リンパ性間質性肺炎	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0	2	11	0.6
	非定型抗酸菌症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	4	4	1	3	2	3	7	30	1.6
	ニューモシスチス・カリニ肺炎	0	0	0	0	5	5	12	16	31	49	58	76	70	89	112	123	113	124	883	46.3
	進行性多発性白質脳症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3	2	4	0	4	16	0.8
	トキソプラズマ脳症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	8	3	4	4	4	1	5	33	1.7
	化膿性細菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	5	4	10	8	30	1.6
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	HIV脳症	0	0	0	0	1	2	2	2	4	2	6	9	6	5	6	13	12	14	84	4.4
	ヒストプラズマ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	イソスポラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	非ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	2	0	3	0	2	2	2	0	4	7	6	8	4	40	2.1
	活動性結核	0	0	0	0	2	0	0	3	1	6	12	4	18	16	18	21	26	15	142	7.5
	サルモネラ菌血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	2	1	8	0.4
	HIV消耗性症候群	0	0	0	0	2	3	3	7	8	14	11	27	19	19	23	43	27	25	231	12.1
	反復性肺炎	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	9	4	8	6	8	8	49	2.6
	浸潤性子宮頸癌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	合計(報告数)	5	3	9	11	17	21	24	37	58	100	119	171	182	168	224	260	245	252	1906	100.0
外国	カンジダ症	0	0	0	0	0	1	1	2	5	4	8	9	7	6	17	18	24	13	115	17.7
国籍	クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	4	6	4	6	6	4	2	42	6.5
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.3
	サイトメガロウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	1	4	4	4	1	5	5	31	4.8	
	単純ヘルペスウイルス感染症	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	3	0	1	0	2	0	11	1.7
	カボジ肉腫	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	1	3	2	1	3	1	2	1	19	2.9
	原発性脳リンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	6	0.9
	リンパ性間質性肺炎	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	6	0.9
	非定型抗酸菌症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	3	3	13	2.0
	ニューモシスチス・カリニ肺炎	0	0	0	0	0	2	4	4	12	16	25	21	30	28	34	34	32	20	262	40.3
	進行性多発性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	6	0.9
	トキソプラズマ脳症	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	1	5	4	2	5	1	8	2	33	5.1
	化膿性細菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6	1	2	11	1.7
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	HIV脳症	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	3	1	2	3	6	5	1	27	4.2
	ヒストプラズマ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0.3
	イソスポラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0.5
	非ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	1	4	3	1	15	2.3
	活動性結核	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	7	11	11	13	11	7	16	10	93	14.3
	サルモネラ菌血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	0.5
	HIV消耗性症候群	0	0	0	0	0	4	2	3	6	6	6	9	5	4	13	10	11	8	87	13.4
	反復性肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	4	3	0	13	2.0
	浸潤性子宮頸癌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.2
	合計(報告数)	1	2	5	3	4	10	14	14	28	36	50	63	68	63	77	69	87	56	650	100.0

表12-1 病変死亡者の国籍別、性別、感染経路別の年次推移(平成11年3月31日までの報告分)

国籍	性別	感染経路	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999.3	合計	合計の%
日本	男	異性間の性的接触	0	4	3	9	6	23	31	31	41	20	4	172	38.7				
		同性間の性的接触(男)*1	1	4	6	3	7	32	22	28	12	13	3	131	29.4				
		静注薬物濫用	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	0.7			
		母子感染	0	0	0	0	1	1	1	2	1	1	0	7	1.6				
		その他*2	0	1	1	0	1	3	1	1	1	2	0	11	2.5				
		不明	2	4	7	6	8	16	13	26	22	9	8	121	27.2				
		合計	3	14	17	18	23	75	68	89	77	46	15	445	100				
		女	異性間の性的接触	0	0	0	1	3	3	4	5	5	2	2	25	62.5			
				静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
				母子感染	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.5		
その他*2	0			1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	4	10.0				
不明	0			1	0	0	0	2	1	2	1	1	2	10	25.0				
合計	0			3	1	1	3	6	5	8	6	3	4	40	100				
外国	男	異性間の性的接触	0	1	0	1	2	3	2	7	6	0	0	22	28.6				
		同性間の性的接触(男)*1	0	1	2	0	2	3	1	0	0	0	0	9	11.7				
		静注薬物濫用	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	5	6.5				
		母子感染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0				
		その他*2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1.3				
		不明	0	1	2	1	3	7	1	4	8	11	2	40	51.9				
		合計	0	3	4	3	6	13	6	12	15	13	2	77	100				
		女	異性間の性的接触	0	0	0	0	2	1	1	3	3	1	1	12	35.3			
				静注薬物濫用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
				母子感染	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2.9		
その他*2	0			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.9				
不明	0			0	0	0	2	3	2	4	3	4	2	20	58.8				
合計	0			0	0	0	4	5	3	7	7	5	3	34	100				
合計	3	20	22	22	36	99	82	116	105	67	24	596							

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

表12-2 病変死亡者の国籍別、性別、年齢階級別の年次推移(平成11年4月1日からの任意報告分)

国籍	性別	年齢階級	1999.4	2000	2001	2002	合計
日本	男	10-19	0	0	0	0	0
		20-29	0	3	3	1	7
		30-39	3	7	4	3	17
		40-49	10	10	8	4	32
		50歳以上	17	12	15	15	59
		合計	30	32	30	23	115
女	異性間の性的接触	10-19	0	0	0	0	0
		20-29	1	0	0	0	1
		30-39	0	1	1	0	2
		40-49	0	0	1	0	1
		50歳以上	1	2	2	0	5
		合計	2	3	4	0	9
外国	男	10-19	0	0	0	0	0
		20-29	1	0	1	0	2
		30-39	2	3	0	1	5
		40-49	1	2	2	0	5
		50歳以上	2	0	1	0	3
		合計	6	5	4	1	16
女	異性間の性的接触	10-19	0	0	0	0	0
		20-29	3	0	2	0	5
		30-39	1	1	1	1	4
		40-49	0	0	0	0	0
		50歳以上	0	0	2	0	2
		合計	4	1	5	1	11
合計	42	41	43	25	151		





# 保健所等におけるH I V抗体検査件数

(参考)

(単位：件)

都道府県	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
	年間	年間	年間	年間	年間	年間
北海道	1,236	1,482	1,441	1,530	1,729	1,429
青森県	209	218	262	227	343	199
岩手県	229	286	286	290	378	291
宮城県	561	699	671	683	758	590
秋田県	150	137	150	169	235	176
山形県	256	299	279	261	260	201
福島県	279	379	304	571	516	347
茨城県	819	957	875	928	1,766	777
栃木県	499	658	564	654	928	720
群馬県	620	775	628	637	789	591
埼玉県	1,805	2,140	1,789	1,752	3,483	1,553
千葉県	2,130	2,456	2,155	2,344	2,870	2,367
東京都	5,539	5,523	5,191	5,396	9,778	7,116
神奈川県	5,704	6,362	5,886	5,499	7,083	3,535
新潟県	640	731	613	543	819	542
富山県	256	336	430	303	252	263
石川県	309	375	330	380	437	368
福井県	189	242	219	169	204	145
山梨県	353	344	394	325	430	357
長野県	883	1,154	1,062	1,097	1,582	1,106
岐阜県	320	367	342	376	453	339
静岡県	1,116	1,393	1,271	1,337	1,925	1,387
愛知県	3,693	4,208	3,779	3,971	6,196	4,429
三重県	483	549	518	470	591	464
滋賀県	353	388	341	318	390	376
京都府	1,216	1,475	1,290	1,271	1,873	1,172
大阪府	5,610	6,491	5,763	5,295	7,682	5,802
兵庫県	2,278	2,666	2,275	2,380	4,486	2,317
奈良県	353	411	339	360	690	314
和歌山県	322	330	249	259	369	248
鳥取県	122	183	144	106	258	170
島根県	141	170	140	148	222	182
岡山県	438	569	454	437	604	566
広島県	858	1,137	1,034	1,123	1,170	875
山口県	424	454	419	446	431	404
徳島県	230	363	236	270	287	233
香川県	199	251	229	222	214	170
愛媛県	421	450	457	452	403	437
高知県	244	232	228	310	267	248
福岡県	1,983	2,372	2,236	2,241	2,908	3,333
佐賀県	307	421	462	472	517	435
長崎県	472	405	387	413	443	495
熊本県	474	498	528	619	785	655
大分県	303	332	307	323	543	299
宮崎県	205	255	294	350	360	315
鹿児島県	322	332	280	326	282	258
沖縄県	684	963	687	701	936	833
計	46,237	53,218	48,218	48,754	69,925	49,429 (12,223)

( ) 内は、自治体が実施する保健所以外の検査件数(別掲)

## 保健所における相談件数

(単位：件)

都道府県	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
	年間	年間	年間	年間	年間	年間
北海道	2,147	2,273	2,261	2,306	2,274	2,030
青森県	432	619	759	718	1,011	832
岩手県	408	524	424	415	543	517
宮城県	918	1,419	1,554	1,656	1,751	1,463
秋田県	358	425	419	530	550	416
山形県	659	637	521	638	695	548
福島県	808	846	567	1,231	1,052	834
茨城県	1,562	1,975	1,602	1,749	2,382	1,410
栃木県	941	1,600	1,238	1,449	1,822	1,583
群馬県	1,337	1,844	1,490	1,496	1,785	1,359
埼玉県	3,729	5,238	4,497	5,326	10,376	6,125
千葉県	2,493	2,962	2,587	2,928	3,187	2,788
東京都	17,184	17,026	16,958	16,896	24,278	17,198
神奈川県	9,994	10,253	9,657	9,086	11,282	7,779
新潟県	1,474	1,636	1,384	1,526	1,617	1,121
富山県	798	868	924	887	738	696
石川県	614	661	698	531	760	765
福井県	340	437	423	384	384	291
山梨県	514	564	614	583	762	707
長野県	1,492	2,082	2,000	2,015	2,304	1,438
岐阜県	637	582	545	515	622	476
静岡県	3,279	3,800	3,422	3,748	4,498	4,414
愛知県	7,129	7,436	7,142	7,576	13,576	9,158
三重県	752	965	910	809	966	757
滋賀県	899	1,199	1,016	1,138	1,195	1,102
京都府	1,928	2,405	2,128	2,209	3,455	2,068
大阪府	11,584	12,922	12,558	12,223	16,200	13,436
兵庫県	3,804	4,103	3,806	4,328	7,480	4,284
奈良県	196	345	312	327	353	226
和歌山県	343	575	392	363	418	458
鳥取県	196	265	219	128	77	157
島根県	252	241	171	236	296	310
岡山県	1,454	1,710	1,446	1,310	1,943	2,114
広島県	1,753	2,762	2,462	2,749	2,683	1,967
山口県	780	989	801	823	676	864
徳島県	426	603	427	523	501	384
香川県	655	886	949	779	591	527
愛媛県	1,184	991	950	1,209	813	853
高知県	440	465	267	383	382	391
福岡県	4,720	6,096	5,916	5,942	7,024	7,876
佐賀県	862	1,160	1,075	1,083	1,106	1,007
長崎県	898	726	652	722	653	773
熊本県	739	777	766	953	1,057	893
大分県	908	1,169	973	1,237	1,306	1,093
宮崎県	783	1,402	1,210	1,319	1,139	1,114
鹿児島県	675	613	470	547	452	386
沖縄県	1,257	1,970	1,644	1,737	2,254	1,923
計	96,735	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911

## 献血件数及びH I V抗体・核酸増幅検査陽性件数

年	献 血 件 数 ( 検 査 実 施 数 )	陽 性 件 数 ( )内女性	10万件 当たり
1987年 (昭和62年)	8,217,340 件	11 (1) 件	0.134 件
1988年 (昭和63年)	7,974,147	9 (1)	0.113
1989年 (平成元年)	7,876,682	13 (1)	0.165
1990年 (平成2年)	7,743,475	26 (6)	0.336
1991年 (平成3年)	8,071,937	29 (4)	0.359
1992年 (平成4年)	7,710,693	34 (7)	0.441
1993年 (平成5年)	7,205,514	35 (5)	0.486
1994年 (平成6年)	6,610,484	36 (5)	0.545
1995年 (平成7年)	6,298,706	46 (9)	0.730
1996年 (平成8年)	6,039,394	46 (5)	0.762
1997年 (平成9年)	5,998,760	54 (5)	0.900
1998年 (平成10年)	6,137,378	56 (4)	0.912
1999年 (平成11年)	6,139,205	64 (6)	1.042
2000年 (平成12年)	5,877,971	67 (4)	1.140
2001年 (平成13年)	5,774,269	79 (1)	1.368
2002年 (平成14年)	5,784,101	82 (5)	1.418

- (注) ・ 昭和61年は、年中途から実施したことなどから、3,146,940件、内陽性件数11件(女性0)となっている。  
 ・ 抗体検査陽性の献血血液は、焼却されており、使用されていない。  
 ・ 核酸増幅検査については、平成11年10月より全国的に実施している。

【資料：医薬局血液対策課】